72

Cat-Nov. 1959 Data

鮪漁業　第七十二号　昭和三十五年九月十日（発行毎月一回十日発行）
昭和三十一年二月二十三日　第三種郵便物認可

鮪漁業

TUNA FISHING

LIBRARY
OCT 17 1960
FISH & WILDLIFE SERVICE

Contents translated inside cover

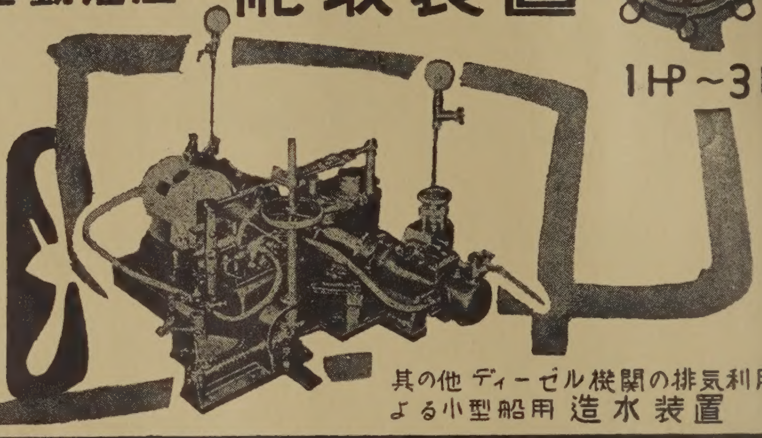
鮪　漁　業　研　究　会

THE INVESTIGATIVE SOCIETY OF TUNA FISHERY JAPAN

No. 72. 1960
Sept.

川崎ヘルショウ式
電動油圧 舵取装置

1HP～3HP



其の他 ディーゼル機関の排気利用による小型船用 造水装置

川崎重工業株式會社
神戸市生田区東川崎町二丁目一四（電）湊川(5)7531
東京支店 東京都港区芝田村町一丁目（日比谷ビル）（電）(59) 6101
（本紙名記入の上御一報下さればカタログ御送附致します）

クレモナ

万漁 鮪延縄（10番手）

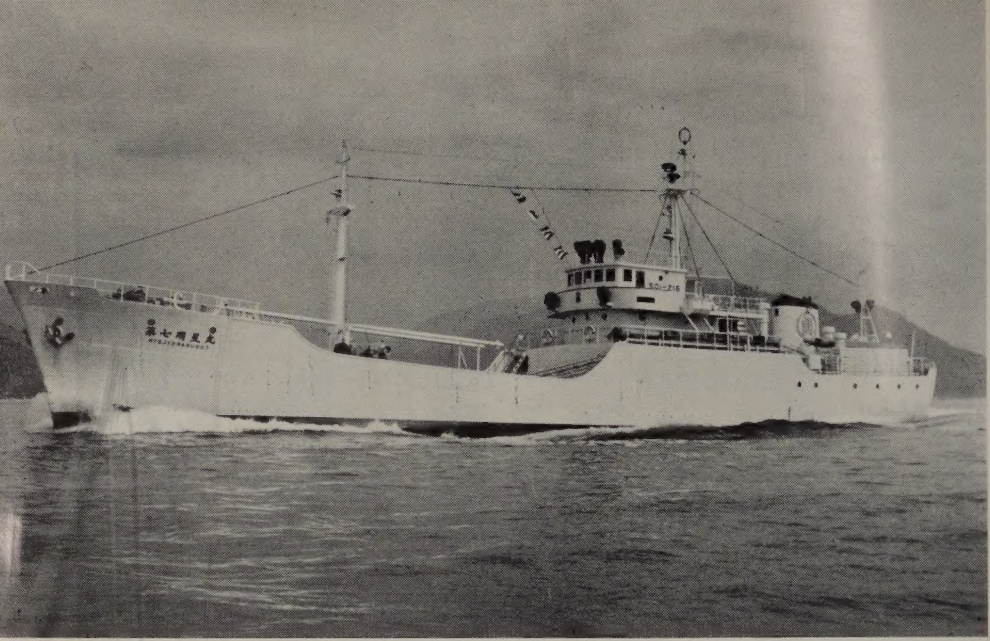
クレモナ10番手糸は、特に太物製品に適するように新しく製造した原糸です。その性能は従來の20番手糸と同樣ですが、强力の点で特に優れているのが特長です。鮪延縄には、〃用途に應じてより適した原糸クレモナ10番手製品をおすゝめします。

説明パンフレット進呈

倉敷レイヨン株式会社•大阪市北区梅田2•東京都中央区日本橋室町2

1960 目次 No. 72

鮪漁船紹介　☆第7明星丸　☆第18薩州丸
鮪漁況速報　1960年7月上旬，7月中旬，7月下旬
鮪漁場図　1959年10月操業
1959年10月に於ける鮪漁場の漁況と海況の概要
（南水研，神水試，鮪漁業研究会委託調査船273隻の資料による）………… 1
1. 操業船の分布………………………… 1　2. 海　況………………………… 1
3. 漁　況……………………………………………………………… 1
A. 東部太平洋第1漁場…………… 1　B. 東部太平洋第2漁場……………… 1
C. 東部太平洋第3漁場…………… 1　D. 中部太平洋第1漁場……………… 1
E. 中部太平洋第2漁場…………… 1　F. 中部太平洋第3漁場……………… 2
G. 中部太平洋第5漁場…………… 2　H. 西部太平洋第1漁場……………… 2
I. 西部太平洋第2漁場…………… 2　J. 西部太平洋第3漁場……………… 2
K. 西部太平洋第4漁場…………… 2　L. 東部印度洋漁場 …………………… 2
M. 中部印度洋漁場 ………………… 3　N. 南部印度洋漁場 …………………… 3
月別，漁場別鮪類漁獲調査表（1959年10月操業分）別表1 ………………………… 4
月別，漁場別鮪類体長組成表（1959年10月操業分）別表2 ………………………… 5
1959年11月に於ける鮪漁場の漁況と海況の概要
（南水研，神水試，鮪漁業研究会委託調査船324隻の資料による）………… 1
1. 操業船の分布………………………… 8　2. 海　況………………………… 8
3. 漁　況……………………………………………………………… 8
A. 東部太平洋第1漁場…………… 8　B. 東部太平洋第2漁場……………… 8
C. 東部太平洋第3漁場…………… 8　D. 中部太平洋第1漁場……………… 8
E. 中部太平洋第2漁場…………… 8　F. 中部太平洋第3漁場……………… 9
G. 中部太平洋第4漁場…………… 9　H. 西部太平洋第5漁場……………… 9
I. 西部太平洋第1漁場…………… 9　J. 西部太平洋第2漁場……………… 9
K. 西部太平洋第3漁場…………… 9　L. 東部太平洋第4漁場……………… 9
M. 東部印度洋漁場 ……………………10　N. 中部印度洋漁場 ……………………10
O. 南部印度洋漁場 ……………………10
月別，漁場別鮪類漁獲調査表（1959年11月操業分）別表1 ………………………… 11
月別，漁場別鮪類体長組成表（1959年11月操業分）別表2 ………………………… 12
マグロ漁況概況予報（1960年10月）………………………神奈川県水産試験場…………………16
同　（1960年11月）…………………………………同…………………………18
まぐろ研究報告の紹介 No. 15
キハダ，メバチ，クロカワのカロリン，マーシャル諸島付近における遊泳層の
季節変化についてI—IV…………………………………………中込　淳……21
中部太平洋の深層マグロの延縄漁業（1952年8月—11月）
G. I. Murphy and R. S. Shomura…………………………………………………21
鮪類水揚価格表（三崎）昭和35年7月，8月……………………………………………20
業界メモ（1960年8月—9月）……………………………………………………………23
本会の図書誌の分譲其の他について…………………………………………………………24



第7 明 星 丸

船主	清水遠洋漁業協同組合
造船所	株式会社 金指造船所
主要寸法	長47.30m×幅8.80m×深4.30m
総屯数	496.76屯
魚艙容積	647.86m³
燃料油艙	255.23m³
速力	最大 12.87節
主機	デーゼル1.100HP（赤阪鉄工） 1基
補機	デーゼル200HP（ヤンマー） 2基
無線	500W，75W（日新無線） 各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式 MA-6-N65HP 3基
レーダー（協立），ロラン，方探（光電），音測（海上）	其の他 各1式
竣工	昭和35年3月25日

漁船の冷凍装置に定評ある

日新興業株

本社 大阪市北区中之島3の3（朝日ビル）
東京支店 東京都中央区銀座西6の3（朝日ビル）
室戸出張所 高知県室戸市室津
清水出張所 清水市三保本村四区
三崎出張所 神奈川県三浦市三崎町西野34
石巻出張所 宮城県石巻市門脇町104

各種漁船用ディー
50馬力～

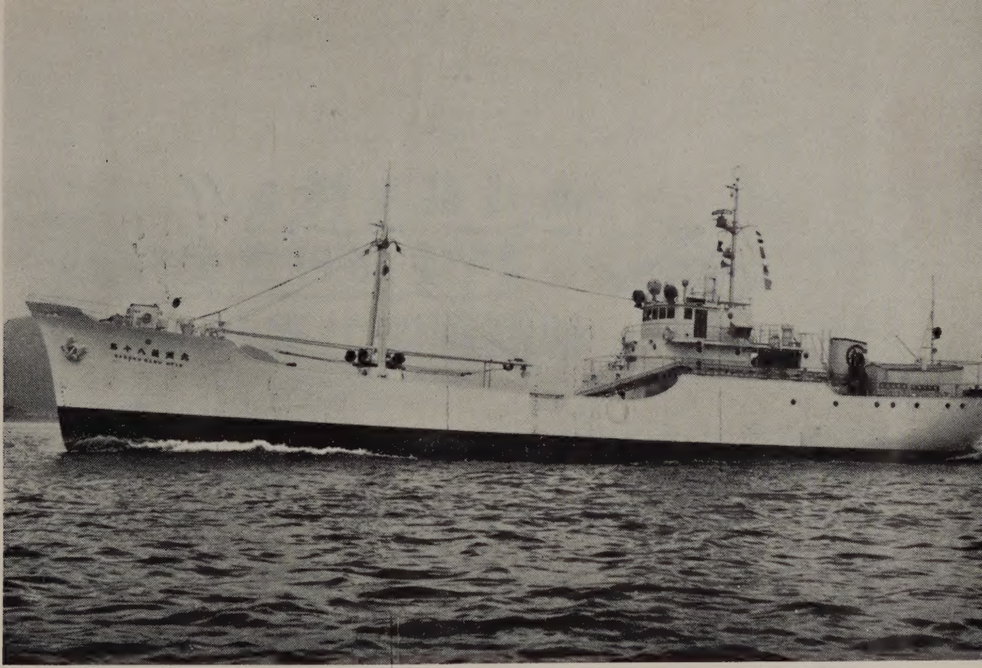
株式会社 赤

本社 東京都中央区銀座一ノ
北海道出張所 札幌市北四条西六丁目
大阪出張所 大阪市東区北浜四ノ三
工場 静岡県焼津市中港町

各種鋼製漁船の建造並に修理

株式会社 金指造船所

本社工場 清水市三保4010—19 電話 清水(2)4111～5
塚間工場 清水市三保弁天492 電話 清水(2)5151～2
東京事務所 東京都港区芝田村町3ノ4 電話 芝(591)1306～8
三崎出張所 三浦市三崎町西野34 電話（三浦）2851



第 18 薩 州 丸

式会社

TEL. 北浜 (23) 9736 (代表)
TEL. 銀座 (571) 7607 (代表)
TEL. 室戸 352
TEL. 清水 (2) 3507
TEL. 三浦 2751
TEL. 石巻 505

施工船名

第 7 明 星 丸
第 18 薩 州 丸
永 京 丸
第 5 富 士 丸
第 38 住 吉 丸
満 寿 海 丸
(其の他 約七百隻)

ゼル機関は定評ある
5000馬力

阪 鉄 工 所

三(千成屋ビル) 電話京橋 (561) 4902〜3
(北洋ビル) 電 話 (3) 4507
八 電話北浜 (23) 4790
五九四 電話 (焼津) 2121〜5

船主	伊藤漁業株式会社 (三浦市)
造船所	株式会社 三保造船所
主要寸法	長50.75m×幅8.80m×深4.20m
総屯数	498.91屯
魚艙容積	690.87m³
燃料油艙	250.01m³
速力	最大 13.22節
主機	デーゼル1.000IP過給式 (赤阪鉄工) 1基
補機	デーゼル200IP (赤阪鉄工) 2基
無線	500W, 75W (穂高通信) 各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式 7″×5½″ 3基
レーダー(神戸), 方探(光電), 音測NS-2000(産研), 操舵機ヘルショウ型 (川重) 其の他	各1式
竣工	昭和35年5月17日

鋼製漁船・貨物船・其の他各種船舶の建造並に修理

株式会社 三 保 造 船 所

本社 工場 静岡県清水市三保3797 電話清水(2)代表2201番

東京事務所 東京都中央区八重洲3の7 (東京建物ビル) 電話 東京 (281) 代表6341番

高性能を誇る!!

鮪漁船用送受信機

穂高通信工業株式会社

本社及工場　東京都新宿区下落合一丁目六番地
電話落合(951)1136番(代表)

『SUNISO』御採用の鮪船

神奈川水試相模丸他大洋、日魯、五洋、清寿、徳島水産各会社所属船約50数隻

SUNISO OIL(スニソオイル)の
御用命は

米国サンオイル社特約販売店

日本興産株式会社

本　社　東京都千代田区神田紺屋町37(丸喜ビル)
電　話　(551) 5 4 7 1. (291) 9 0 2 8
出張所　大阪市西区立売堀北通 1 (立売堀ビル)
日本通商内. 電 話 (53) 0303. 0437

═設備完成═

鋼木船の造船修理一般

500噸　船　台　4　基
機重起10噸•7.5噸•5噸各1基

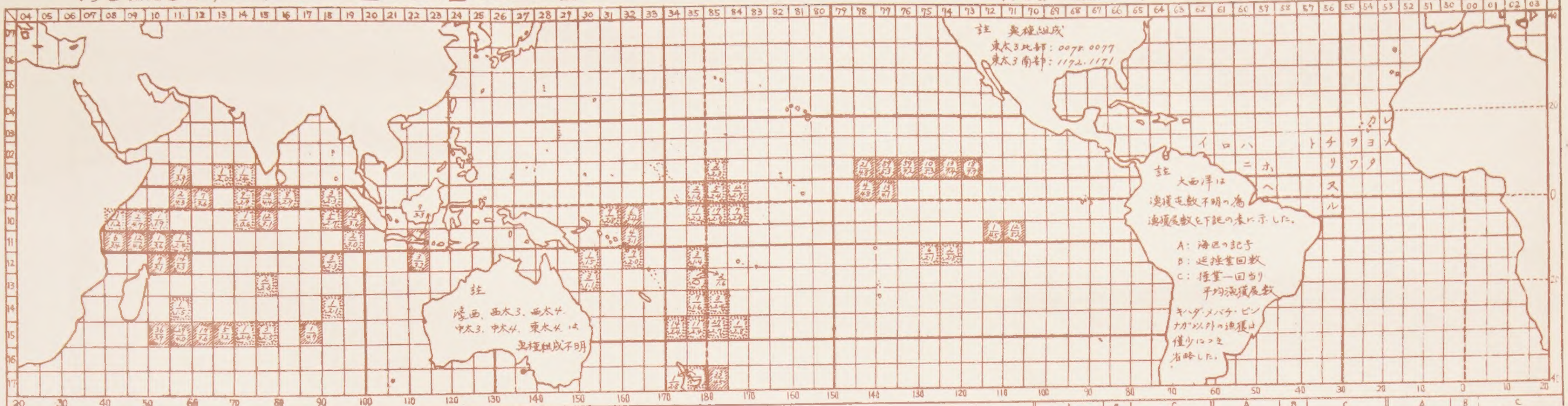
三崎船舶工業株式会社

本　社　東京都中央区西八丁堀2ノ10　電話築地(551) 9611～5
工　場　神奈川県三浦市三崎町向ヶ崎2446　電話(三浦)(代)3141

マグロ漁況通報 1960年 7月上旬

■ は7.5も以上、▨ は3.1もから7.5もまで、□ は3.1も以下を示す。

上段の数字は延操業回数、下段の数字は操業一回当り平均漁獲尾数を示す



(海区の分類)

符号	名称	範囲	符号	名称	範囲	符号	名称	範囲
アラ	アラビア海	N5°以北、E80°以西	西太4	西太平洋4	S10°–S30°、E130°–E170°	東太3	東太平洋3	N5°–S10°、W150°以東
ベン	ベンガル湾	N5°以北、E80°–E100°	・5	〃 5	S30°以南、〃	・4	〃 4	S10°–S30°、〃
中印	中印度洋	N5°–S10°、E120°以西	中太1	中太平洋1	N20°以北、E170°–W150°	・5	〃 5	S30°以南、〃
南印	南印度洋	S10°以南、E20°–E120°	・2	〃 2	N5°–N20°、〃	西大北	西大西洋北部	N5°以北、W30°以西
南支	南支那海	N5°以北、E120°以西	・3	〃 3	N5°–S10°、〃	・中	〃 中部	N5°–S5°、〃
西太1	西太平洋1	N20°以北、E120°–E170°	・4	〃 4	S10°–S30°、〃	・南	〃 南部	S5°以南、〃
・2	西太平洋2	N5°–N20°、〃	・5	〃 5	S30°以南、〃	東大北	東大西洋北部	0°以北、W30°以東
・3	西太平洋3	N5°–S10°、〃	東太1	東太平洋1	N20°以北、W150°以東	・南	〃 南部	0°以南、〃
濠西	濠洲西部	S10°以南、E100°–E130°	・2	〃 2	N5°–N20°、〃			

(魚種組成)

海区	キハダ	メバチ	ビンナガ	インド	ゴウシュウ	クロカワ	シロカワ	マカ	メカ
アラ	47.9	37.6				8.5		2.4	2.6
中印	67.7	17.0	6.8			5.0	1.4	1.3	0.8
南印	14.6	2.4	81.4	0.1		0.3	0.3	0.4	0.5
中太5		0.1	11.2		88.5			0.1	0.1
東太2	24.4	71.7				3.1	0.3	0.3	0.2
東太3北部	20.5	74.2				4.6	0.4	0.1	0.2
東太3南部	42.7	45.8	8.3			1.0	0.2	1.7	0.3

(概況)

南印のビンナガが増加している。特にS25°〜30° E50°〜70°では操業1回当り、6月下旬100〜110尾から、7月上旬150〜160尾の漁獲となっている。

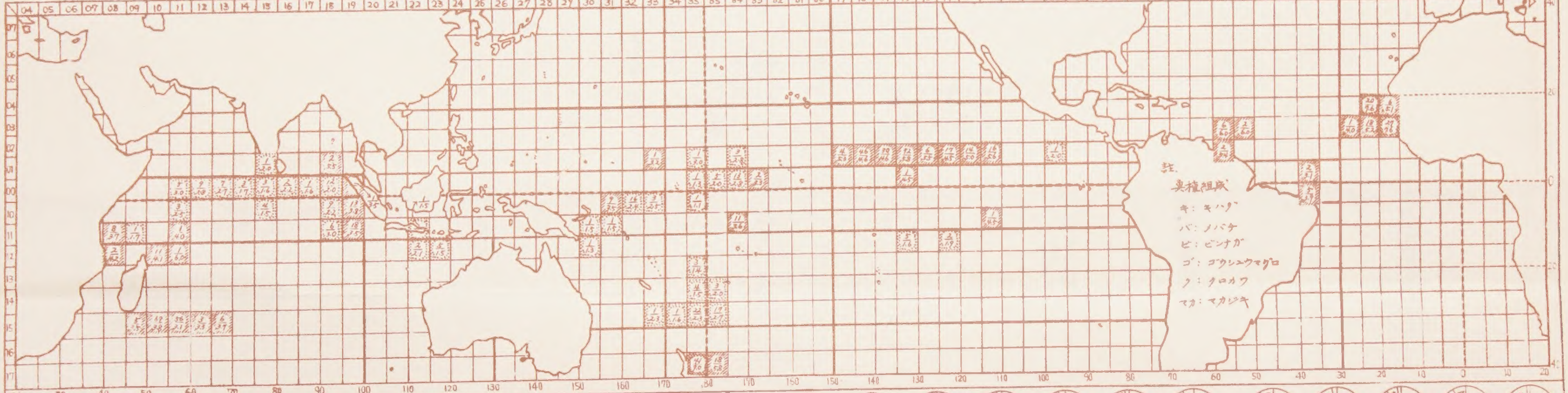
A 海区		B 回数	C キハダ	C メバチ	C ビンナガ	A 海区		B 回数	C キハダ	C メバチ	C ビンナガ	A 海区		B 回数	C キハダ	C メバチ	C ビンナガ
イ	0262	1	57		6	ト	0257	1	29	5	7	ワ	0155	4	55	10	1
ロ	0261	2	72	3	40	チ	0256	4	66	12	1	カ	0354	19	116	20	
ハ	0260	4	91	4	24	リ	0156	2	75	6		ヨ	0254	47	227	25	
ニ	0160	2	48	1	7	ヌ	0056	2	43		61	タ	0154	3	70	2	
ホ	0159	13	79	6	19	ル	1056	18	59	3	30	レ	0353	6	87	19	
ヘ	0059	20	103	5	18	ヲ	0255	36	101	16		ソ	0253	30	113	13	

(註) 漁場小区域の番号—緯度、経度の番号で示す。[illegible]

マグロ漁況通報 1960年 7月中旬

■ は7.5も以上、▨ は3.1もから7.5もまで、□ は3.1も以下を示す。

上段の数字は延操業回数、下段の数字は操業一回当り平均漁獲尾数を示す

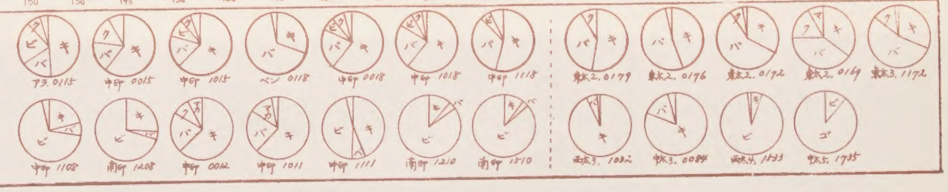


(海区の分類)

符号	名称	範囲	符号	名称	範囲	符号	名称	範囲
アラ	アラビア海	N5°以北、E80°以西	西太4	西太平洋4	S10°–S30°、E130°–E170°	東太3	東太平洋3	N5°–S10°、W150°以東
ベン	ベンガル湾	N5°以北、E80°–E100°	・5	〃 5	S30°以南、〃	・4	〃 4	S10°–S30°、〃
中印	中印度洋	N5°–S10°、E120°以西	中太1	中太平洋1	N20°以北、E170°–W150°	・5	〃 5	S30°以南、〃
南印	南印度洋	S10°以南、E20°–E120°	・2	〃 2	N5°–N20°、〃	西大北	西大西洋北部	N5°以北、W30°以西
南支	南支那海	N5°以北、E120°以西	・3	〃 3	N5°–S10°、〃	・中	〃 中部	N5°–S5°、〃
西太1	西太平洋1	N20°以北、E120°–E170°	・4	〃 4	S10°–S30°、〃	・南	〃 南部	S5°以南、〃
・2	西太平洋2	N5°–N20°、〃	・5	〃 5	S30°以南、〃	東大北	東大西洋北部	0°以北、W30°以東
・3	西太平洋3	N5°–S10°、〃	東太1	東太平洋1	N20°以北、W150°以東	・南	〃 南部	0°以南、〃
濠西	濠洲西部	S10°以南、E100°–E130°	・2	〃 2	N5°–N20°、〃			

中太5. ニュージーランド北東方海域(1735・1785)のゴウシュウマグロは前旬に比して急激に増加し、盛漁期に入った。操業1回の漁獲100〜290尾平均180尾であった。

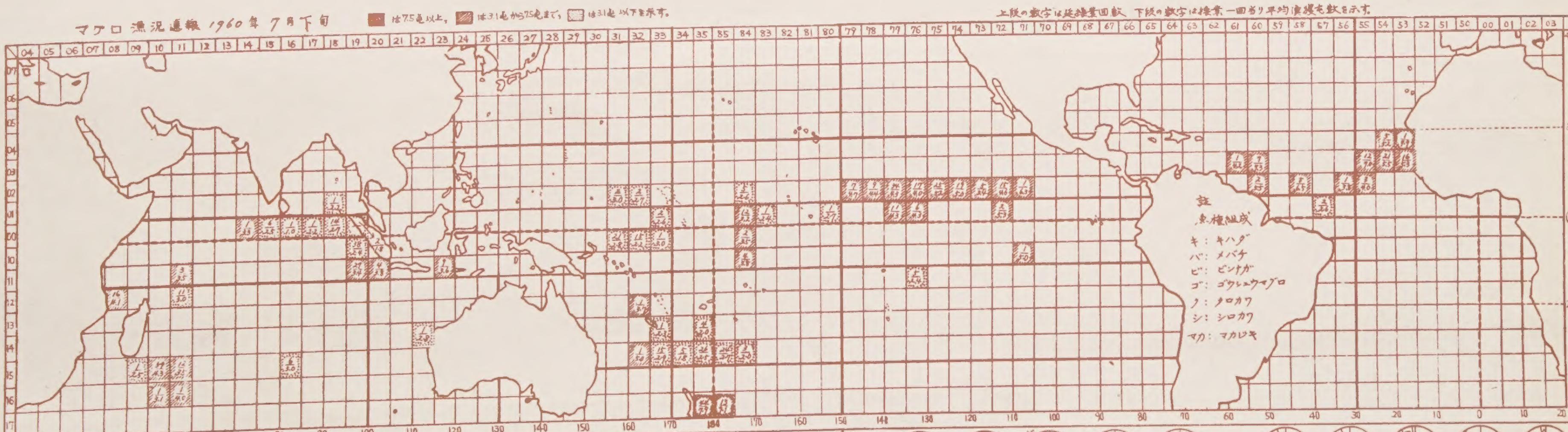
魚種組成



マグロ漁況通報 1960年 7月下旬

■ は7.5も以上、▨ は3.1もから7.5もまで、□ は3.1も以下を示す。

上段の数字は延操業回数、下段の数字は操業一回当り平均漁獲尾数を示す。

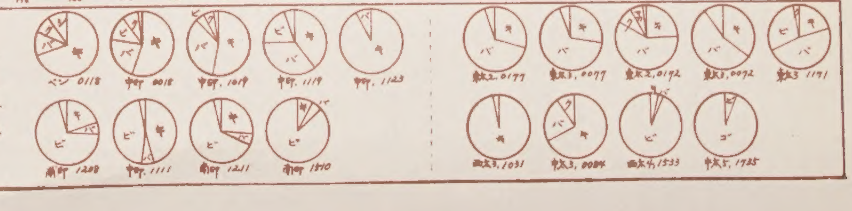


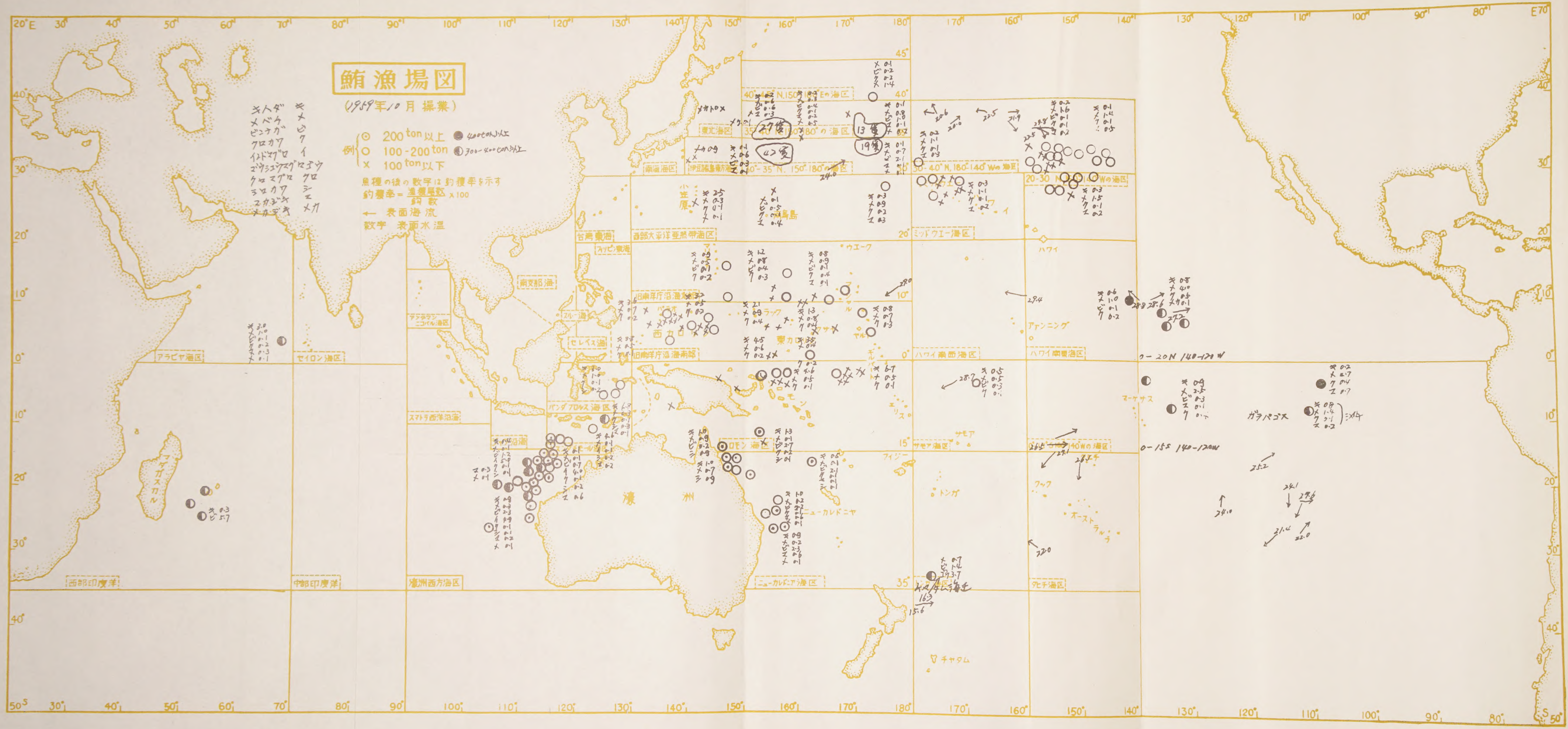
(海区の分類)

符号	名称	範囲	符号	名称	範囲	符号	名称	範囲
アラ	アラビア海	N5°以北、E80°以西	西太4	西太平洋4	S10°–S30°、E130°–E170°	東太3	東太平洋3	N5°–S10°、W150°以東
ベン	ベンガル湾	N5°以北、E80°–E100°	・5	〃 5	S30°以南、〃	・4	〃 4	S10°–S30°、〃
中印	中印度洋	N5°–S10°、E120°以西	中太1	中太平洋1	N20°以北、E170°–W150°	・5	〃 5	S30°以南、〃
南印	南印度洋	S10°以南、E20°–E120°	・2	〃 2	N5°–N20°、〃	西大北	西大西洋北部	N5°以北、W30°以西
南支	南支那海	N5°以北、E120°以西	・3	〃 3	N5°–S10°、〃	・中	〃 中部	N5°–S5°、〃
西太1	西太平洋1	N20°以北、E120°–E170°	・4	〃 4	S10°–S30°、〃	・南	〃 南部	S5°以南、〃
・2	西太平洋2	N5°–N20°、〃	・5	〃 5	S30°以南、〃	東大北	東大西洋北部	0°以北、W30°以東
・3	西太平洋3	N5°–S10°、〃	東太1	東太平洋1	N20°以北、W150°以東	・南	〃 南部	0°以南、〃
濠西	濠洲西部	S10°以南、E100°–E130°	・2	〃 2	N5°–N20°、〃			

中部印度洋はキハダの不漁期で依然低調である。東部太平洋はN5°〜10° W105°〜150°の細長い海域で4もへ5も台の漁が続いている。昨年同期は赤道の南北で操業され、両側共同程度の漁獲があったのに較べ、今年は6月上旬以来赤道以南では殆んど操業が行はれていない。

魚種組成





鮪漁場図
(1959年10月操業)
例
200 ton 以上
100-200 ton
100 ton 以下
400ton以上
300-400ton以上
魚種の後の数字は釣獲率を示す
釣獲率＝漁獲尾数／鈎数 x100
← 表面海流
数字 表面水温
キハダ キ
メバチ メ
ビンナガ ビ
クロカワ ク
インドマグロ イ
ゴウシュウマグロ ゴウ
クロマグロ クロ
シロカワ シ
マカジキ マ
メカジキ メカ
アラビヤ海区
セイロン海区
西部印度洋
中部印度洋
濠州西方海区
スマトラ西洋海区
南支那海
セレベス海
バンダフロレス海区
ソロモン海区
ニューカレドニヤ海区
ニューカレドニヤ
ミッドウエー海区
ハワイ
ハワイ南面海区
ハワイ南東海区
ウエーク
サモア海区
フィジー
トンガ
マーケサス
ガラパゴス
タヒチ海区
チャタム
マダガスカル
濠洲
東北海区
南海海区
西部太平洋亜熱帯海区

1959年10月に於けるマグロ漁場の漁況と海況の概要

（南水研、神水試、鮪漁業研究会委託調査船273隻の資料による）

Fishing and Sea Condition of Tuna Fishing Ground in October in 1959

(By the data collected from the 273 appointed boats)

1. 操業船の分布

ギルバート諸島よりファンニング諸島を経て140°Wに至る海域は操業船が非常に減少し，日本近海と濠洲西方漁場は9月より更に操業船が増加した．

2. 海　　　況

漁場図をみられたい．（別紙）

3. 漁　　　況

A 東部太平洋第1漁場（20°N以北，150°W以東）

150°W以西の漁況と同様で，メバチはなお不漁期に当り釣獲率は低く 1.4，マカジキは好漁期に当り釣獲率は0.5である．

B 東部太平洋第2漁場（5°～20°N，150°W以東）

キハダは好漁期を過ぎ，釣獲率は著しく低く0.6～0.8.

メバチは西よりから漁獲が低下し始め，9°N，141°W周辺は釣獲率1.0，5～8°N，136～130°W の海域は釣獲率4.0となっている．なお，クロカワは好漁期で釣獲率は0.5となっている．

C 東部太平洋第3漁場（5°N～10°S，150°W以東）

マーケサス諸島北方及び東方海域の漁況と，4°S，108°W周辺の漁況とは著しく異なり，マーケサス諸島北方海域は上昇期，東方海域は低下期で共に比較的漁獲が低く釣獲率2.5，マカジキも極めて漁獲が低く釣獲率0.1であるのに対し，4°S，108°W周辺に於いてはメバチの漁獲が高く釣獲率4.7，マカジキの漁獲も極めて高く釣獲率は0.7である．

キハダは共に不漁期に当り釣獲率は0.9以下，クロカワは比較的漁獲が高く釣獲率0.4となっている．

なお，8°S，110°W周辺は全魚種共漁獲が低いが，これはシャチに襲われたためである．

D 中部太平洋第1漁場（20°N以北，180°～150°W）

この漁場はメバチとマカジキが主漁獲対象であるが，メバチは未だ不漁期で，釣獲率は160～150°Wの海域がやや高く1.5～1.6，180～170°Wの海域はかなり低く1.1，またマカジキは好漁期末期であるが今年（昭和34年）の漁獲は低く，釣獲率はどの海域も0.2～0.3である．

E 中部太平洋第2漁場（5°～20°N，170°E～150°W）

マーシャル諸島東方及びヤルート島東方海域は，キハダが低下期で釣獲率0.8，メバチがなお不漁期で釣獲率0.7，クロカワも低下期で釣獲率0.4となり，9月とほぼ同様の漁況である．

F　中部太平洋第3漁場（10°～30°S，170°E～150°W）

ギルバート諸島西南方海域は，その西方のナウル島周辺と同様キハダが好漁期であり，また今年（昭和34年）は好漁年でもあるので漁獲は極めて高く，釣獲率は6.7，これに対し，2 S，168 W周辺は，メバチは釣獲率0.5でギルバート諸島西南方海域と同率であるが，キハダは釣獲率0.5で極めて低い．

G　中部太平洋第5漁場（30°S以南，170°E～150°W）

ビンナガは上昇期で釣獲率1.4，ゴウシュウマグロは最低期で釣獲率3.7である．

H　西部太平洋第1漁場（20°N以北，180°以西）

メバチは全海域にわたり好漁期であるが，今年（昭和34年）は漁獲が著しく低く，釣獲率は170°E以西が0.3～0.6，40°N以南，170～180 Eの海域が0.7～0.9，ビンナガは東端の海域に出現し始め，170°E以西の海域が釣獲率0.3～0.6であるのに対し，170～180°Eの海域は，35～40 Nの海域が釣獲率1.0．30～35°Nの海域が釣獲率2.1となった．

また，35～40°N，150～170°Eの海域はマカジキが好漁期に当るが，今年（昭和34年）の釣獲率は例年に比し低く，10月も9月にひきつづき0.2～0.3，メカジキは9月と同様40～45°N，145～180°Eの海域が好漁期で，三陸東方海域が釣獲率1.0，41 N，174°E周辺で釣獲率1.4となっているが，10月には35～40°N，150～180°Eの海域も上昇し始め，160～170°Eの海域が釣獲率0.5，170～180°Eの海域が0.3となった．

伊豆諸島東側海域は，魚群が大型魚により占められている40～45°Nの水帯と異なり，西方及び南方より来遊した小型魚群により，漁獲が高く，0.9となっている．

なお，小笠原諸島周辺のキハダは好漁期末期であるが漁獲は極めて高く，釣獲率2.5である．

I　西部太平洋第2漁場（5°～20°N，170°E以西）

メバチは西部太平洋第1漁場と同様好漁期に当るが，やはり今年（昭和34年）は漁獲が非常に低く釣獲率0.5～0.9，これに対しキハダは，好漁期にある西部太平洋第3漁場の影響で漁獲が高く，10～17°Nの水帯でも釣獲率0.8～1.2，5～10°Nの水帯では西よりに漁獲が高いが，150～160°Eの海域が釣獲率2.1，160～170°Eの海域が釣獲率1.3であるのに対し，150°E以西は130～140 Eの海域が釣獲率3.6，140～150°Eの海域が釣獲率3.2で極めて漁獲が高く，全海域にわたりメバチより高率である．

J　西部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E以西）

5°N～5°Sの水帯はキハダが全海域にわたり漁獲が急激に上昇して好漁期に入った．昨年（昭和33年）は不漁年のため漁獲が著しく低かったが，今年(昭和34年)は好漁年のため漁獲が非常に高く，釣獲率は3.5～4.6になった．なおメバチは全海域にわたりほぼ同程度の漁獲で，釣獲率は0.4～0.6である．

K　西部太平洋第4漁場（10°～30°S，170°E以西）

キハダは不漁期に当るが漁獲はこの海域としては例年と同様比較的高く，釣獲率は0.9～1.3である．

150°E以西の海域の主要漁獲魚種であるシロカワは，昭和32，33年と同様漁獲が低く，釣獲率0.9である．

150 E以東の海域の主要漁獲魚種であるビンナガは，22°S以南は低下途上で例年と同様の2.2～2.3，15～20°Sの水帯は上昇期で2.1，10～13 Sの水帯は低下途上で2.7と全海域ほぼ同程度の釣獲率である．

なお，メバチは150 E以西と以東とで漁獲が明瞭に異なり，以西の海域は釣獲率0.7～0.9となっている．

L　東部印度洋漁場（100°E以東）

バンダ海のブル島南岸海域は，キハダが西カロリン諸島と同様好漁期に入り釣獲率3.0，メバチは例年と同程度で釣獲率1.0，チモール島西岸及び南西岸周辺は周年漁獲が高いが10月には好漁期にも入り，釣獲率は4.6～6.8となっている.

12～27°S，105～125°Eの沖よりの海域はインドマグロが最盛期に入り釣獲率4.0～5.0，また，20～30°Sの海域のビンナガは好漁期を過ぎ，低下途上で釣獲率2.3となった.

M　中部印度洋漁場（5°N～10°S）

4°N，67°E周辺のキハダは上昇期であるが，漁獲はかなり高く釣獲率3.9となり，メバチは昨年よりかなり低く釣獲率1.0となっている.

N　南部印度洋漁場（10°S以南，100°E以西）

レユニオン島西方及び西南方海域のビンナガは低下途上で，釣獲率は5.7となった.

鮪延縄漁具製作に革命をもたらす新漁具

鮪延縄用SKスリーブ及びプレッサー

実用新案登録番号　132570・132571

本品はワイヤーもせきやまも手軽に締めつけが出来て誰でも出来不出来がありません．その上製作に時間と労力を要せず強度も一定で革命的のものであります．東京水産大学練習船海鷹丸をはじめ官公庁船，会社船等に使用されていて実用上その耐久力強度については充分に立証されております.

須　田　製　作　所

営業所　東京都中央区銀座東6—4 日交ビル　電話 (541) 3904～7
第1工場　東京都中央区月島通11—6，電話 (641) 1095

※ 説明資料は鮪漁業研究会に申込下さい ※

月別、漁場別鮪類漁獲調査表（1959年10月操業分）

（別表1）

漁場	操業区域	調査隻数	体長測定船数	水温(c°)	操業回数	漁具数	鈎数	きはだ	めばち	びんなが	くろまぐろ	いんどまぐろ	かじき くろかわ	かじき しろかわ	かじき まかじき	かじき めかじき	かじき ばしょう	かつお	雑	さめ	計	備考
0—20N	5—8N			26.5				933	4704	1			595	12	49	67	15		189		6574	
140—120W	136—[illegible]	3	0	27.6	68	27,979	118,989	0.78	3.95	0.00			0.50	0.01	0.04	0.06	0.01		0.17		5.52	
ガラパゴス	3—10S			23.6				147	912				76	6	136	8		63	92	100	1540	
	115—110W	2	0	24.5	14	6,610	29,450	0.49	3.09				0.26	0.02	0.46	0.03		0.21	0.31	0.34	5.23	
0—15S	0—12S			24.2				438	1215	142	1		211	7	33	6					2053	
140—120W	143—111W	2	0	8.8	30	12,350	28,340	1.55	4.29	0.50	0.00		0.74	0.02	0.12	0.02					7.24	
30—40N	26—39N			20.5				635	7153	171	12		334	3	1484	125	4	4	720	267	10912	
180—140W	180—147W	20	1	27.2	290	69,326	474,626	0.13	1.51	0.04	0.00		0.07	0.00	0.31	0.03	0.00	0.00	0.15	0.06	2.29	
ミッドウェー	26—30N			23.3				660	2340	65	2		295	4	358	25	2	9	65	256	4081	
	198—164W	11	2	27.1	147	49,013	210,062	0.31	1.11	0.03	0.00		0.14	0.00	0.17	0.01	0.00	0.00	0.03	0.12	1.94	
20—30N	24—31N			22.4				467	2471	12	11		144		347	4		3	158	56	3673	
160—140W	161—142W	7	4	25.8	109	39,209	164,042	1.28	1.51	0.01	0.01		0.09		0.21	0.00		0.00	0.10	0.03		
ハワイ南東	2—18N							407	660	88			131	7	20	10					1235	
50N以北	142—138W	1	0		24	13,015	65,075	0.63	1.01	0.14			0.20	0.01	0.03	0.02					1.90	
サモア	0—4S			27.0				54	50	33			10			2			1		150	
	170—166W	1	0	28.6	7	2,500	10,000	0.54	0.50	0.33			0.10			0.02			0.01		1.50	
チャタム	31—36S			16.0					180	389	1	1011			1	4			43		1629	
	180—174W	1	1	18.3	18	5,400	27,000		0.67	1.44	0.00	3.74			0.00	0.01			0.16		6.03	
40—45N	38—42N			17.0					15	42	45					375			12	204	693	
150—180E	171—177E	1	0	19.6	15	4.620	27,720		0.05	0.15	0.16					1.35			0.04	1.74	2.50	
35—40N	33—41N			16.2				1348	5320	5478	86		141	12	1583	1063	3	17	600	3575	19226	
150—180E	147—179E	46	2	26.0	635	184,129	772,918	0.17	0.68	0.71	0.00		0.02	0.00	2.20	0.14	0.00	0.00	0.08	0.46	2.49	
30—35N	32—37N			18.8				1149	5893	8793	61		126	6	1053	408	3	37	443	1989	19961	
150—180E	151—176E	61	9	25.6	628	199,398	946,867	0.12	0.62	0.93	0.00		0.01	0.00	0.11	0.04	0.00	0.00	0.05	0.21	2.11	
東北海区	38—40N			17.2					1						1	86				349	437	
	147—155E	1	0	19.1	8	1,390	8,340		0.01						0.01	1.03				4.18	5.24	
伊豆東方	32—35N			23.8				10	200				5		8	260			1	159	463	
	140—142E	2	0	26.6	29	6,005	29,300	0.03	0.07				0.02		0.03	0.89			0.01	0.54	1.58	
西部太平洋	26—33N			23.4				354	317	12			83		87	16	1		8	110	988	
	156—174E	3	0	26.1	39	10,983	44,392	0.80	0.71	0.03			0.19		0.20	0.04	0000		0.02	0.25	2.23	
南洋北部	8—17N			28.6				1866	1601	297			606	1	33	9	68		163	190	4834	
	148—168E	11	0	30.0	103	46,642	211,924	0.88	0.76	0.14			0.29	0.00	0.02	0.00	0.03		0.08	0.09	2.28	
南洋南部	1—10N			28.0				13218	2659	54			1027	17	15	18	545	64	736	517	18870	
	132—177E	30	2	29.8	276	91,380	434,374	3.04	0.61	0.01			0.24	0.00	0.00	0.00	0.13	0.01	0.17	0.12	4.34	
ソロモン	0—17S			24.8				14750	1784	1565			496	493	30	21	297	28	1007	300	20771	
	142—178E	19	6	30.2	211	78,611	359,439	4.10	0.49	0.43			0.14	0.13	0.00	0.00	0.08	0.00	0.28	0.08	5.78	
ニューカレドニア	14—29S			20.3				2946	1398	4503			202	1240	938	188	118	1	277	212	12023	
	110—160E	11	4	26.2	201	74,847	336,662	0.87	0.42	1.34			0.06	0.37	0.28	0.06	0.04	0.00	0.08	0.06	3.57	
バンダ、クロルス	1—7S			26.9				2670	862	4			62	152	5	21	55		318		4149	
	124—135E	3	0	29.4	49	18,417	90,185	2.96	0.96	0.00			0.07	0.17	0.00	0.02	0.06		0.35		4.60	

漁場	操業区域	調査隻数	体長測定船数	水温(c°)	操業回数	漁具数	鈎数	まぐろ きはだ	まぐろ めばち	まぐろ びんなが	まぐろ くろまぐろ	まぐろ いんどまぐろ	かじき くろかわ	かじき しろかわ	かじき まかじき	かじき めかじき	かじき ばしょう	かつお	雑	さめ	計	備考
小スンダ、チモール	13—16 S 115—118 E	6	0	25.8 27.4	63	32,813	158,045	2940 1.86	252 0.16	403 0.25	2 0.00	2414 1.53	73 0.04	175 0.11	403 0.25	24 0.01	32 0.02		13 0.00	82 0.05	6813 4.31	
濠洲西方	10—27 S 95—125 E	27	7	20.3 25.5	425	154,914	705,041	4033 0.57	1496 0.21	11561 1.64		33932 4.81	374 0.05	829 0.12	2142 0.30	301 0.04	21 0.00	21 0.00	260 0.04	411 0.06	55381 7.86	
アラビア	02—06 N 66—70 E	1	0	28.0 29.3	16	7,070	28,280	1110 3.93	282 1.00	15 0.05			53 0.19	11 0.04	83 0.29	15 0.05	44 0.16				1613 5.70	
西部印度洋	20—26 S 48—57 E	3	1	21.4 25.5	65	37,375	201,139	676 0.34	85 0.04	11505 5.72			74 0.04	35 0.02	60 0.03	74 0.04	16 0.00		207 0.10	159 0.08	12891 6.41	
合計																						

月別、漁場別鮪類体長組成表（1959年10月操業分）

（別表2）

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	50cm以下	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171cm以上	計	漁獲尾数
きはだ	1	20—30N 160—140W	25—31N 143—166E	26								2 2.9	27 39.7	24 35.3	5 7.4	9 13.2	1 1.5		68 100	68
	1	30—40N 180—140W	31—34N 150—146W	14							3 7.3	24 58.5	13 31.7				1 2.4		41 100	717
	2	ミッドウェー	26—31N 198—169W	23						1 0.6	23 12.8	85 47.5	45 25.1	11 6.1	11 6.1	1 0.6		2 1.1	179 100	164
	3	30—35N 150—180E	33—37N 170—177E	43							5 4.4	49 43.0	45 39.5	6 5.3	7 6.1	1 0.9	1 0.9		114 100	78
	2	南洋南部	6—10N 135—143E	16							20 3.0	258 38.4	317 47.2	64 9.5	12 1.8				671 100	380
	1	ニューカレドニア	14—17S 145—148E	24							1 5.9	6 35.3	5 29.4	5 29.4					17 100	458
	5	ソロモン	0—17S 142—178E	64					14 3.2	31 7.0	18 4.1	141 31.8	129 29.1	69 15.6	17 3.8	10 2.3		14 3.2	443 100	4427
	3	濠洲西方	10—27S 95—125E	91							2 1.8	3 2.7	13 11.5	22 19.5	51 45.1	21 18.6	1 0.9		113 100	1875

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	60cm以下	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181cm以上	計	漁獲尾数
めばち	1	20—30N 160—140W	24—31N 147—154E			1 0.8	3 2.4	15 12.2	10 8.1	1 0.8		9 7.3	16 13.0	10 8.1	14 11.4	13 10.6	16 13.0	15 12.2	123 100	483
	1	30—40N 180—140W	31—34N 150—146W	14							19 21.6	8 9.1	13 14.8	6 6.8	18 20.5	12 13.6	12 13.6		88 100	513
	2	ミッドウェー	26—31N 198—169W	41				2 1.9	7 6.7		9 8.7	7 6.7	7 6.7	7 6.7	8 7.7	23 22.1	17 16.3	17 16.3	104 100	703
	1	35—40N 150—180E	37—40N 167—174E	9									5 12.2	8 19.5	6 14.6	9 22.0	4 9.8	9 22.0	41 100	30

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	60cm以下	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181cm以上	計	漁獲尾数
ばち	4	30 — 35 N 150 — 180 E	33— 37 N 170— 178 E	75				4 1.0	9 2.3	3 0.8	44 11.2	93 23.7	43 11.0	73 18.6	39 9.9	48 12.2	19 4.8	17 4.3	392 100	806
	2	南洋南部	6— 10 N 135—143 E	16								13 9.4	42 31.2	45 32.4	25 18.0	8 5.8	6 4.3		139 100	162
	2	ニューカレドニア	14 29 S 145—158 E	52								2 5.6	8 22.2	17 47.2	4 11.1	5 3.9			36 100	493
	4	ソロモン	0— 17 S 142—178 E	53				2 1.0	3 1.5	5 2.6	29 14.9	26 12.4	34 17.5	39 20.1	34 17.5	9 4.6	8 4.1	5 2.6	194 100	675
		濠洲西方	10— 27 S 95—125 E	91						4 6.1	10 15.2	13 19.7	23 34.8	14 21.2	2 3.0				66 100	483

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	40cm以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121cm以上	計	漁獲尾数
びんなが	1	20 — 30 N 160 — 140 W	25— 31 N 143—166 E	26								1 33.3	1 33.3	1 33.3	3 100	3
	1	ミッドウェー	26— 31 N 176—173 W	23					2 6.3	12 37.5	7 21.9	10 31.3	1 3.1		32 100	8
	1	35 — 40 N 150 — 180 E	37— 40 N 167—174 E	9					1 1.4	10 14.5	35 50.7	18 26.1	5 7.2		69 100	20
	3	30 — 35 N 150 — 180 E	33— 37 N 170—177 E	46						1 0.2	211 38.2	300 54.2	41 7.4		553 100	1426
	1	南洋南部	6— 10 N 135—140 E	9								1 100			1 100	1

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	120cm以下	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241cm以上	計	漁獲尾数
いんどまぐろ	1	ニューカレドニア	14— 22 S 110—114 E	19			1 0.6	3 1.8	68 40.0	68 40.0	29 17.1	1 0.6							170 100	0
	4	濠洲西方	10— 27 S 95—125 E	105	2 0.6	1 0.3	19 5.4	111 31.5	166 47.2	43 12.2	7 2.0	2 0.6	1 0.3						352 100	7274

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	計	漁獲尾数
くろかわ	1	20 — 30 N 160 — 140 W	24— 31 N 147—154 E	21					2 13.3		1 6.7	2 13.3	4 26.7	2 13.3	1 6.7		1 0.7	2 13.3	15 100	19
	1	30 — 40 N 180 — 140 W	31— 34 N 150—146 W	14									2 33.3		2 33.3	2 33.3			6 100	21
	2	ミッドウェー	26— 31 N 198—169 W	41		2 2.1	4 4.1	14 14.4	21 21.6	8 8.2	9 9.3	10 10.3	12 12.4	4 4.1	5 5.2	5 5.2	1 1.0	2 2.1	97 100	94
	1	南洋南部	6— 10 N 135—143 E	7		7 28.0	11 44.0	2 8.0	1 4.0		1 4.0	1 4.0		1 4.0	1 4.0				25 100	15
	1	ニューカレドニア	24— 29 S 153 158 E	28	1 2.1	4 8.3	8 16.7	3 6.2	8 16.7	5 10.4	5 10.4	5 10.4	5 10.4	3 6.2	1 2.1				48 100	20
	1	バンダ、フロレス	5— 8 S 140 152 E	9			1 14.3			2 28.6		1 14.3	1 14.3		1 14.3	1 14.3			7 100	24
	2	ソロモン	0 — 10 S 142—178 E	21		16 22.5	23 32.3	16 22.5	5 7.0	2 2.8	1 1.4	2 1.4	1 1.4	1 1.4	1 1.4	2 2.8		1 1.4	71 100	71

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	計	漁獲尾数
	4	濠洲西方			1 0.9	10 9.3	18 16.7	21 19.4	33 30.6	9 8.3	5 4.6	4 3.7		1 0.9	3 2.8	2 1.9	1 0.9		108 100	1448

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	計	漁獲尾数
しろかわ	1	ミッドウェー	26—31 N 198—169 W	18											1 100				1 100	2
	1	ニューカレドニア	14—17 S 145—148 E	24							3 14.3	4 19.0	4 19.0	2 9.5	3 14.3		3 14.3	2 9.5	21 100	353
	3	ソロモン	0—17 S 142—178 E	46			1 1.7	2 3.3	2 3.3	4 6.7	11 18.3	9 15.0	5 8.3	2 3.3	4 6.7	4 6.7	1 1.7	15 25.0	60 100	391
	4	濠洲西方	10—27 S 95—125 E		3 4.8		4 6.3	6 9.5	4 6.3	6 9.5	3 4.8	1 1.6	12 19.0	9 14.3	3 4.8	8 12.7	2 3.2	2 3.2	63 100	133

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	100cm以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221cm以上	計	漁獲尾数
まかじき	1	20—30 N 160—140 W	24—31 N 147—154 E	21				3 5.8	16 30.8	26 50.0	5 9.6	2 3.8							52 100	68
	1	30—40 N 180—140 W	31—34 N 150—146 W	14			4 14.8	5 18.5	7 25.5	10 37.0	1 3.7								27 100	163
	1	ミッドウェー	26—31 N 176—173 W	23			10 34.5	8 27.6	5 17.2	6 20.7									29 100	51
	1	35—40 N 150—180 E	37—40 N 167—174 E	9						2 40.0	3 60.0								5 100	2
	4	30—35 N 150—180 E	33—37 N 170—178 E	62			4 4.1	9 9.2	46 46.9	33 33.7	5 5.1	1 1.0							98 100	72
	1	ニューカレドニア	14—22 S 110—114 E	19				2 15.4	4 30.8	1 7.7	3 23.1	3 23.1							13 100	104
	1	濠洲西方	15—22 S 109—117 E	14			2 33.3	1 16.7	1 16.7		1 16.7	1 16.7							6 100	71

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	80cm以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201cm以上	計	漁獲尾数
めかじき	2	ミッドウェー	26—31 N 198—169 W	41				2 18.2	1 9.1		1 9.1	1 9.1	1 9.1		1 9.1	1 9.1		3 27.3	11 100	2
	1	35—40 N 150—180 E	37—40 N 167—174 E	9		4 12.1	4 12.1	6 18.2	7 21.2	12 36.4									33 100	166
	3	30—35 N 150—180 E	33—37 N 170—177 E	46			2 4.3	4 8.5	1 2.1	5 10.6	1 2.1	2 4.3	5 10.6	1 2.1	1 2.1	8 17.0	3 6.4	14 29.8	47 100	32
	1	南洋南部	6—10 N 135—143 E	7									2 80.0		1 20.0				3 100	1

1959年11月に於けるマグロ漁場の漁況と海況の概要

（南水研、神水試、鮪漁業研究会委託調査船 324 隻の資料による）

Fishing and Sea Condition of Tuna Fishing Ground in November in 1959
(By the data collected from the 324 appointed boats)

1. 操業船の分布

25～35°N，160～140°Wの海域の操業船は西方に移動し，11月には160～150°Wの海域に密集，日本近海の操業船はなお多いが10月よりは著しく減少，また濠洲のオンスロー，カーナーボン西方沖合の操業船は，インドマグロをねらって激増した．

2. 海　　　況

漁場図をみられたい．（別紙）

3. 漁　　　況

A　東部太平洋第1漁場（20°N以北，150°W以東）

33°N，143°W周辺で1隻が操業しているが，メバチが好漁期に入り，釣獲率は2.3でかなり上昇した．マカジキは不漁期に入り，殆んど漁獲されず，10月から著しく低下した．

B　東部太平洋第2漁場（5°～20°N，150°W以東）

5～10°N，145～130°Wの海域に於いて，キハダは不漁期で釣獲率は0.3～0.6，メバチは好漁期末期で西よりから漁獲が低下し始め，134°W以西の海域が1.7～2.0，134°W以東の海域は釣獲率3.7でなお高い．

なお，クロカワは10月と同様比較的漁獲が高い．

C　東部太平洋第3漁場（5°N～10°S，150°W以東）

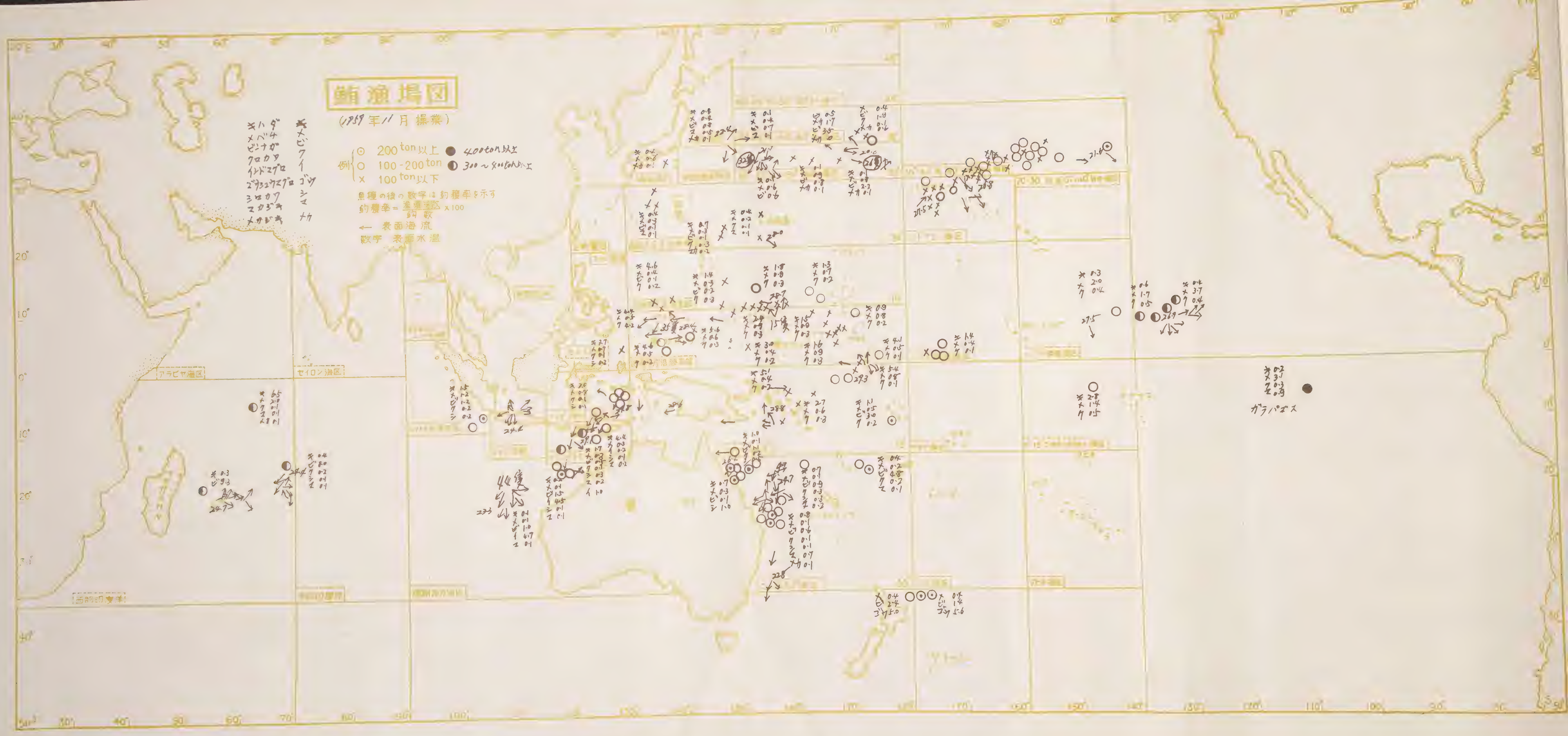
マーケサス諸島北西海域と6°S，110°W周辺とは10月と同様著しく漁況が異なり，マーケサス諸島北西海域はキハダが上昇期で10月より著しく高くなり釣獲率2.8，メバチは低下期で10月より著しく低くなり1.4（鮪漁業誌52号29頁参照），6°S，110°W周辺は10月と同様メバチとマカジキの漁獲が高いが，メバチは10月より著しく低下し釣獲率3.1，マカジキは10月よりかなり高く釣獲率0.9となった．

D　中部太平洋第1漁場（20°N以北，180°～150°W）

30°N以北の海域のメバチは好漁期に入ったが不漁年のため釣獲率は180～160°Wの海域が2.6，160～150°Wの海域が2.1，ミッドウェー島周辺は不漁年に当る上なお上昇途上にあるので漁獲は低く，釣獲率1.4となっている．なお，マカジキは好漁期を過ぎ，釣獲率は0.1となった．

E　中部太平洋第2漁場（5°～20°N，170°E～150°W）

マーシャル諸島東方海域は10月と殆んど同様の漁況であるが，クロカワは釣獲率が9月に0.4，10月に0.3，11月に0.2と低下し，メバチは未だ好漁期前である．


鮪漁場図
(1959年11月操業)
キハダ　キ
メバチ　メ
ビンナガ　ビ
クロカワ　ク
インドマグロ　イ
ゴウシュウマグロ　ゴウ
シロカワ　シ
マカジキ　マ
メカジキ　メカ
例
⊙ 200 ton 以上
○ 100-200 ton
× 100 ton 以下
● 400 ton 以上
◐ 300～400 ton 以上
魚種の後の数字は釣獲率を示す
釣獲率＝ ×100
← 表面海流
数字　表面水温
アラビヤ海区
セイロン海区
ガラパゴス

F 中部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E～150°W）

ギルバート諸島周辺及びその西南方海域はキハダが好漁期であり，また今年（昭和34年）は好漁年に当るので漁獲はかなり高く，釣獲率はギルバート周辺が4.1，ギルバート西南方海域が5.4となった．メバチは10月と同様釣獲率0.5～0.8である．

2°N，175°W周辺はキハダの漁獲が低く釣獲率1.4，エリス諸島南西海域は5°N以北の漁場の影響を受けキハダの漁獲がやや高く釣獲率1.1，ビンナガは中部太平洋第4漁場の10～13°Sの水帯の影響でかなり高く釣獲率3.0である．

G 中部太平洋第4漁場（10°～30°S，170°E～150°W）

フィージー諸島とニューヘブリデス諸島との中間海域は，15～20°Sにみられる冬季（北半球に於ける）の好漁期で漁獲は極めて高く，釣獲率4.8となった．

H 中部太平洋第5漁場（30°S以南，170°E～150°W）

ニュージランド北東海域に於いて，180°以西のビンナガは好漁期に入り釣獲率2.4，180°以東の海域のビンナガはなお上昇期で1.4，ゴウシュウマグロは10月を最低に上昇し始め，釣獲率は5.0～5.6となった．

I 西部太平洋第1漁場（20°N以北，180°以西）

メバチは全海域にわたりなお好漁期であるが，今年（昭和34年）は例年に比し漁獲が低く，釣獲率は30°N以北で0.6～0.9，ビンナガは東方から次第に来遊して全般的に10月よりやや高く，37°N，148°E周辺から30～35°N，150～170°Eの海域は釣獲率0.6～0.8，30～35°N，170～180°Eの海域では釣獲率2.2，特に35°N，174°E周辺では釣獲率3.5にまで上昇した．

マカジキは例年より早く不漁期に入り，37°N，148°E周辺のみ釣獲率0.5で残存している．
メカジキは170～180°Eの海域に於いて36°Nまで南下し，同海域では釣獲率1.7となった．
なお，マリアナ諸島北東海域から南鳥島周辺にかけてのキハダは低下期で釣獲率0.7である．

J 西部太平洋第2漁場（5°～20°N，170°E以西）

10月と同様，メバチは好漁期に当るが今年（昭和34年）は例年より漁獲が低い．また，5～15°Nの水帯に於いて10月と同様150°E以東の海域は釣獲率0.7～0.9，150°E以西の海域は釣獲率0.3～0.6で，150°E以東と以西とで漁況が異なる．

この漁場はメバチの漁場であるが，メバチの漁獲が低い上キハダの漁獲が5°N以南の影響を受けて高いので，全海域にわたりメバチよりキハダの方が漁獲が高い．特に10～13°Nの140°E以西と5～10°Nの150°E以西の海域は漁獲が著しく高く，釣獲率は4.4～5.2，5～10°N，150～160°Eの海域が釣獲率2.4，他の海域は釣獲率1.3～1.8となっている．

K 西部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E以西）

キハダが10月にひき続き最盛期であり，今年（昭和34年）は好漁年でもあるので漁獲は極めて高く，釣獲率は3.0～5.1，ソロモン群島周辺もかなり高く釣獲率2.7，なお，クサイ島東方海域はキハダの釣獲率が1.6で低く，メバチの釣獲率が0.9で釣獲率0.4～0.7の他海域より高いが，同海域が5°N以北の漁場の延長海域のためと考えられる．

L 西部太平洋第4漁場（10°～30°S，170°E以西）

キハダは15°S以南の全海域にわたり10月よりやや漁獲が落ち，釣獲率は0.7～0.8，14°S，149°E周辺のみ1.0，150°E以西海域の主漁獲魚種のシロカワは好漁期に当るが，昭和32，33年と同様不漁年

で，釣獲率は1.0，また，150°E以東の海域の主要漁獲魚種であるビンナガは，15～20°Sの水帯が低下途上で釣獲率1.9，20～25°Sの水帯は不漁期で釣獲率0.6となった.

M　東部印度洋漁場（100°E以東）

バンダ海のキハダは西カロリン諸島と同様10月にひき続き好漁期で漁獲が高く釣獲率3.0，メバチは低下途上で釣獲率0.8になった．チモール島，スンバ島間の海域のキハダは周年漁獲が高いが，11月は10月にひき続き好漁期で漁獲は高く，釣獲率は4.4である.

12～17°S，118～120°Eの海域のインドマグロは既に拡散期に入り釣獲率1.0と著しく低下した．17～25°S，100°E以東の海域のインドマグロはなお好漁期で漁獲が高く，釣獲率は4.5～4.7である.

また，スマトラ南端の西南方海域は，漁場が沿岸よりのためキハダが若干漁獲され釣獲率1.5，100°E以東のメバチは好漁期末期であるが既に漁獲は低く釣獲率1.3，またビンナガも釣獲率1.2で多少漁獲されているので，全体としては比較的漁獲がみられる.

N　中部印度洋漁場（5°N～10°S，100°E以西）

5°S，62°E周辺のキハダは上昇途上であるが漁獲は高く釣獲率6.5，またメバチの漁獲も高く釣獲率2.0となっている.

O　南部印度洋漁場（10°S以南，100°E以西）

14°S，68°E周辺とレユニオン島西北方海域はビンナガの漁獲が極めて高く，釣獲率8.0～9.3で，20°S以南の海域と異なる様である.

月別、漁場別鮪類漁獲調査表(1959年11月操業分)

(別表1)

漁場	操業区域	調査隻数	体長測定船数	水温 ℃	操業回数	漁具数	釣数	きはだ	めはち	びんなが	くろまぐろ	いんどまぐろ	かじき くろかわ	かじき しろかわ	かじき まかじき	かじき めかじき	かじき ばしょう	かつお	雑	さめ	計	備考
0 — 20 N	4— 9 N			24.1				711	3693		2		656	10	56	35	5			41	5213	
140 — 120 W	133—129 W	4	2	28.3	76	32,700	141,040	0.51	2.62		0.00		0.47	0.01	0.04	0.02	0.00			0.03	3.70	
ガラパゴス	5— 7 S			23.9				62	1081				112	8	319	9		77	124	177	1969	
	111—109 W	1	1	24.5	16	6,888	34,440	0.18	3.14				0.33	0.02	0.93	0.03		0.22	0.36	0.51	5.72	
30 — 40 N	28— 36 N			19.0				630	13087	19			80	2	390	82		1	569	573	15610	
180 — 140 W	171—150 W	27	7	22.8	344	122,192	552,355	0.11	2.37	0.04			0.01	0.00	0.07	0.01		0	0.10	0.10	2.83	
ミッドウェー	26— 34 N			19.2				951	4012	94	3		243	6	246	43		3	130	550	6281	
	180 170 W	16	4	26.0	190	64,963	284,038	0.33	1.41	0.03	0.00		0.09	0.00	0.09	0.02		0.00	0.05	0.19	2.21	
20 — 30 N	31— 33 N			19.8				308	3770	12			35	1	211	25			77	178	4617	
160 — 140 W	168—140 W	8	0	23.4	98	37,257	182,319	0.17	2.07	0.01			0.02	0.00	0.12	0.01			0.04	0.10	2.53	
ハワイ南西	0— 5 N			27.3				1611	447	6			148	10	20	3	68		43	31	2387	
5° N 以南	180—172 W	4	1	28.9	41	16,740	111,515	1.44	0.40	0.01			0.13	0.01	0.02	0.00	0.06		0.04	0.03	2.14	
ハワイ南東	6— 9 N							79	609				111	3	12	2					816	
5° N 以北	145 141 W	1	0		16	6,020	30,100	0.26	2.02				0.37	0.01	0.04	0.01					2.71	
0 — 15 S	4— 6 S			27.2				511	255				93		9	1					869	
160 — 140 W	155—153 W	1	0	28.5	12	4,600	18,440	2.78	1.39				0.51		0.05	0.01					4.72	
チュータム	34— 37 S			15.2				17	53	1119	7	4483			2	4			41	139	5865	
	180—178 W	2	2	25.8	48	17,900	79,860	0.02	1.07	1.40	0.01	5.61			0.00	0.01			0.05	0.17	7.34	
35 — 40 N	33— 38 N			17.6				96	549	1552	69		15		130	375		29	169	209	3193	
150 — 180 E	148—178 E	9	0	23.4	88	25,719	135,515	0.07	0.41	1.15	0.05		0.01		0.09	0.28		0.02	0.12	0.15	2.36	
30 — 35 N	32— 37 N			18.7				1456	7347	14361	103		77	7	707	1227	4	33	668	2495	28485	
150 — 180 E	142—179 E	61	29	23.7	782	230,347	1097,012	0.13	0.67	1.31	0		0	0	0.06	0.11	0	0	0.06	0.23	2.59	
東北海区	34— 37 N			21.9				14	38	88			3		51	7			1	7	209	
	149—151 E	1	0	22.8	9	2,700	10,800	0.13	0.35	0.81			0.03		0.47	0.06			0.01	0.06	1.94	
南海海区	33— 36 N			22.5				4	20	1				1	1	2				22	51	
	137 139 E	1	0	23.0	3	480	2,400	0.17	0.83	0.04				0.04	0.04	0.08				0.92	2.13	
西部太平洋	19— 31 N			22.5				384	209	68	1		106	0	76	15	76		258	371	1564	
	133 155 E	7	1	29.0	77	16,869	72,910	0.53	0.29	0.09	0.00		0.15	0.00	0.10	0.02	0.10		0.35	0.51	2.15	
南洋北部	10— 19 N			25.9				5457	1502	143			684	4	23	5	137	86	383	462	8886	
170° E 以西	134 169 E	14	3	29.5	158	53,923	248,782	2.19	0.60	0.06			2.27	0.00	0.00	0.00	0.06	0.03	0.15	0.19	3.57	
南洋南部	5 11 N			27.8				43799	7634	100			2609	85	45	60	1578	225	349	528	57012	
5° N 以北	132—173 E	63	11	30.7	747	251,066	1181,197	3.71	0.65	0.01			0.22	0.01	0.00	0.01	0.13	0.02	0.03	0.04	4.83	
南洋南部	0— 10 N			28.0				6440	899	8			264	17	8	11	217	30	28	656	8568	
5° N 以南	174— 170 W	7	3	28.9	89	31,845	164,593	3.91	0.54	0			0.16	0.01	0	0.00	0.13	0.02	0.02	0.39	5.21	
フィリピン東海	0— 6 N			29.2				1316	246				43	73	2	5	59				1744	
	126—132 E	1	0	30.4	22	7,090	35,450	3.71	0.69				0.12	0.21	0.01	0.01	0.17				4.92	
ソロモン	0— 17 S			26.3				6923	993	672			380	87	9	11	282	107	159	9	9632	
	135— 180 E	14	3	29.2	116	40,819	190,286	3.64	0.52	0.35			0.19	0.05	0.00	0.01	0.15	0.06	0.08	0.00	5.06	
ニューカレドニア	13— 26 S			22.6				3718	823	4944			569	1553	2101	185	79	17	570	300	14859	
	146 173 E	18	8	30.1	283	108,103	501,370	0.74	0.16	0.99			0	0.11	0.31	0.42	0.04	0.02	0	0.11	0.06	2.96

漁場	操業区域	調査隻数	体長測定船数	水温(c°)	操業回数	漁具数	鈎数	まぐろ類 きはだ	まぐろ類 めばち	まぐろ類 びんなが	まぐろ類 くろまぐろ	まぐろ類 いんどまぐろ	かじき類 くろかわ	かじき類 しろかわ	かじき類 まかじき	かじき類 めかじき	かじき類 ばしょう	かつお	雑	さめ	計	備考
ニュージランド	34—38 S			15.9				4	40	942		2002			1	4					2993	
	178—180 E	1	0	18.8	20	8,000	40,000	0.01	0.10	2.36		5.01			0.00	0.01					7.48	
バンダ、フロレス	4—13 S			28.2				3295	871	2		8	84	121	34	27	24		108		4574	
	120—132 E	5	0	30.2	58	22,207	109,035	3.02	0.80	0.00		0.01	0.08	0.11	0.03	0.02	0.02		0.10		4.19	
小スンダ、チモール	6—15 S			27.6				5481	412	95	195	198	38	206	225	13	118		8	91	7080	
	116—129 E	5	1	30.3	74	27,457	137,285	3.99	0.30	0.07	0.14	0.14	0.03	0.15	0.16	0.01	0.09		0.01	0.07	5.16	
スマトラ西岸	8—11 S			26.9				567	489	453			68	54	25	3	1		21	9	1690	
	100—104 E	2	0	28.0	17	6,646	37,004	1.53	1.32	1.22			0.18	0.15	0.07	0.01	0.00		0.06	0.02	4.57	
濠洲西方	11—26 S			19.8				3360	1576	11464		65504	191	833	1309	410	4	6	102	28	87787	
	101—122 E	48	5	29.5	750	299,543	1472,230	1.23	1.11	1.45		4.45	0.01	0.06	0.09	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	5.96	
西部印度洋	4—25 S			23.1				1599	413	9971			115	84	98	43	26	186	100	141	12806	
	47—87 E	3	1	28.2	64	25,840	135,370	1.18	0.31	7.37			1.11	0.06	0.07	0.03	0.02	0.14	0.07	0.10	9.46	

月別、漁場別鮪類体長組成表（1959年11月操業分）

（別表2）

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	50cm以下	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121-130	131-140	141-150	151-160	161-170	171cm以上	計	漁獲尾数
		0 — 20 N	4— 9 N									8	22	20	13	9	4	2	78	
	2	140 — 120 W	141—129 W	50								10.3	28.2	25.6	16.7	11.5	5.1	2.6	100	610
		30 — 40 N	29—34 N				17	4	2		3	30	20	4	2		2	3	87	
	6	180 — 140 W	179—156 W	100			19.5	4.6	2.3		3.4	34.5	23.0	4.6	2.3		2.3	3.4	100	74
		ミッドウェー	21—34 N					2	1	1	9	112	161	67	30	9		1	395	
き	6		180—155 W	91				0.5	0.3	0.3	2.3	28.4	40.8	17.0	7.6	2.3		0.3	100	331
		ハワイ南西	0—3 N									1	49	41	10	15	6	9	131	
	1	5 N 以南	178—172 W	8								0.8	37.4	31.3	7.6	11.5	4.6	6.9	100	342
		30　35 N	31—37 N					1	1	1	17	176	216	82	87	43	14	2	640	
	21	150　180 E	149—178 E	281				0.2	0.2	0.2	2.7	27.5	33.8	12.8	13.6	6.7	2.2	0.3	100	612
		西部太平洋	21　23 N					1	1	1		3	45	28	9	1			89	
	1		146—149 E	17				1.1	1.1	1.1		3.4	50.6	31.5	10.1	1.1			100	114
		南洋北部	5—12 N						14	8	19	55	72	58	12				238	
は	3	170 E 以西	152—169 E	42					5.9	3.4	8.0	23.1	30.3	24.4	5.0				100	1051
		南洋南部	0—11 N				1	4	6	17	73	114	285	320	105	21	11	2	959	
	7	170 E 以西	139—173 E	84			0.1	0.4	0.0	1.8	7.6	11.9	29.7	33.4	10.9	2.2	1.1	0.2	100	3744
		ソロモン	0—11 S				1			30	47	60	150	95	22	2		85	492	
	4		157—180 E	38			0.2			6.1	9.6	12.2	30.5	19.3	4.5	0.4		17.3	100	2301
		ニューカレドニア	16—26 S				1	1	26	37	16	33	42	44	45	17	2	1	265	
	5		145—176 E	95			0.4	0.4	9.8	14.0	6.0	12.5	15.8	16.6	17.0	6.4	0.8	0.4	100	1215
た		小スンダ、チモール	10—13 S					39	12	10	83	77	66	19	10	4	2	1	323	
	1		123—125 E	18				12.1	3.7	3.1	25.7	23.8	20.4	5.9	3.1	1.2	0.6	0.3	100	1792
		濠洲西方	15—25 S									3	3	6	11	6		1	30	
	2		103—119 E	31								9.9	9.9	20.0	36.7	20.0		3.3	100	62
		西部印度洋	4—7 S							1	4	30	57	19	1				112	
	1		61—66 E	10						0.9	3.6	26.8	50.9	17.0	0.9				100	1233

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	60cm以下	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181cm以上	計	漁獲尾数
めばち	2	0 — 20N 140 — 120W	4— 9N 141—129W	50			1 0.4			1 0.4	6 2.1	10 3.5	50 17.7	58 20.5	61 21.6	31 11.0	27 9.5	38 13.4	283 100	2366
	6	30 — 40N 180 — 140W	29— 34N 179—156W	100			1 0.1	16 1.5	60 5.5	48 4.4	168 15.3	179 16.3	169 15.4	112 10.2	153 13.9	77 7.0	67 6.1	47 4.3	1097 100	4057
	6	ミッドウェー	21— 34N 180—155S	91			5 0.7	18 2.5	20 2.8	5 0.7	35 4.9	54 7.6	94 13.2	64 9.0	114 16.0	104 14.6	136 19.0	65 9.1	714 100	1742
	1	ハワイ南西 5N以南	0— 3N 178—172W	8		12 8.1	32 21.5	15 10.1	7 4.7	12 8.1	7 4.7	15 10.1	14 9.4	5 3.4	15 10.1	6 4.0	3 2.0	6 4.0	149 100	70
	1	チャタム	34— 38S 180—178W	26									2 7.7	6 23.1	6 23.1	5 19.2	2 7.7	5 19.2	26 100	22
	25	30 — 35N 150 — 180E	31— 37N 151—178E	342			2 0.1	14 0.8	25 1.4	18 1.0	278 16.0	489 28.1	232 13.3	271 15.6	126 7.2	138 7.9	92 5.3	54 3.1	1739 100	3164
	1	西部太平洋	21— 23N 146—149E	17		16 14.7	7 6.4	24 22.0	24 22.0	6 5.5	10 9.2	7 6.4	7 6.4	3 2.8	2 1.8	2 1.8	1 0.9		109 100	55
	3	南洋北部 170 E 以西	5— 12N 152—160E	42				7 5.2	11 8.1	12 8.9	24 17.8	31 23.0	24 17.8	20 14.8	4 3.0		1 0.7	1 0.7	135 100	447
	6	南洋南部 170 E 以西	0— 11N 141—173E	73		21 5.1	37 9.0	10 2.4	11 2.7	17 4.1	29 7.0	51 12.3	98 23.7	85 20.6	36 8.7	12 2.9	6 1.5		413 100	982
	4	ソロモン	0— 11S 157—180E	38			2 1.5		8 5.8	11 8.0	9 6.5	36 26.1	41 29.7	23 16.7	3 2.2	4 2.9	1 0.7		138 100	280
	3	ニューカレドニア	16— 19S 145—176E	39					8 7.5	13 12.3	14 13.2	25 23.6	18 17.0	16 15.1	7 6.6	3 2.8	2 1.9		106 100	128
	1	小スンダ、チモール	10— 13S 123—125E	18					9 42.9	1 4.8		2 9.5		2 9.5	1 4.8	2 9.5	4 19.0		21 100	92
	1	ジャワ	5— 7S 111—109W	16					1 3.2				1 3.2	10 32.3	12 38.7	5 16.1	2 6.5		31 100	1081
	3	濠洲西方	15— 25S 103—119E	31					3 2.7	6 5.4	9 8.1	9 8.1	21 18.9	24 21.6	26 23.4	12 10.8	1 0.9		111 100	68
	1	西部印度洋	4— 7S 61— 66E	10				9 12.9	4 5.7	6 8.6	5 7.1	13 18.6	19 27.1	11 15.7	2 2.9	1 1.4			70 100	371

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	120cm以下	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241cm以上	計	漁獲尾数
いんどまぐろ	1	チャタム	34— 38S 180—178W	26	46 22.4	78 38.0	38 18.5	23 11.2	16 7.8	2 1.0	1 0.5	1 0.5							205 100	2405
	1	ジャワ	5— 7S 111—109W	16		4 15.4	22 84.6												26 100	0
	5	濠洲西方	15— 26S 102—119E	58		7 1.3	83 15.9	172 33.0	167 32.1	78 15.0	13 2.5								521 100	6382

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—219	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	計	漁獲尾数
	2	0 — 20N 140 — 120W	4— 9N 141—129W	50		2 2.9	2 2.9	2 2.9	10 14.5	11 15.9	17 24.6	7 10.1	4 5.8	3 4.3	2 2.9	4 5.8	2 2.9	3 4.3	69 100	440
	1	30 — 40N 180 — 140W	29— 34N 169—161W	13									2 33.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3			6 100	5

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	計	漁獲尾数
くろかわ	3	ミッドウェー	24—34N 180—155W	46		2 2.1	2 2.1	9 9.4	24 25.0	5 5.2	6 6.3	10 10.4	11 11.5	9 9.4	5 5.2	4 4.2	5 5.2	4 4.2	96 100	58
	15	30—35N 150—180E	31—37N 149—178E	213	1 2.3			2 4.7	4 9.3	1 2.3	2 4.7	6 14.0	9 20.9	10 23.3	4 9.3	1 2.3	2 4.7	1 2.3	43 100	36
	1	西部太平洋	21—23N 146—149E	17		8 19.5	9 22.0	10 24.4	7 17.0	2 4.9	1 2.4		1 2.4	1 2.4	1 2.4		1 2.4		41 100	45
	3	南洋北部 170° E以西	5—12N 152—169E	42	8 7.3	35 31.8	32 29.1	14 12.7	5 4.5	3 2.7	2 1.8	4 3.6	1 0.9	1 0.9	1 0.9	2 1.8		2 1.8	110 100	181
	4	南洋南部 170° E以西	5—10N 141—173E	43	12 4.0	23 7.6	66 21.9	53 17.5	75 24.8	14 4.6	10 3.3	19 6.3	12 4.0	4 1.3	12 4.0	2 0.7			302 100	219
	3	ソロモン	0—11S 157—180E	28		4 13.3	3 10.0	4 13.3	13 43.3	2 6.7	3 10.0	1 3.3							30 100	67
	5	ニューカレドニア	16—26S 145—157E	95	1 0.6	2 1.1	7 4.0	11 6.3	19 10.8	32 18.2	41 23.3	29 16.5	18 10.2	8 4.5	1 0.6	1 0.6	1 0.6	5 2.8	176 100	171
	1	小スンダ、チモール	10—13S 123—125E	18		14 22.6	16 25.8	8 12.9	8 12.9	2 3.2	6 9.7	2 3.2	1 1.6	1 1.6	3 4.8		1 1.6		62 100	7
	1	ジャワ	5—7S 111—109W	16		1 2.9	2 5.7	1 2.9	8 22.9	9 25.7	7 20.0	3 8.6	3 8.6	1 2.9					35 100	112
	2	濠洲西方	15—25S 103—119E	31		1 6.3	4 25.0	6 37.5	5 31.3										16 100	6

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	130cm以下	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241—250	251cm以上	計	漁獲尾数
しろかわ	2	ミッドウェー	24—30N 180—170W	34	13 76.5	2 11.8				1 5.9							1 5.9		17 100	2
	3	30—35N 150—180E	31—37N 149—173E	40						2 66.7	1 33.3								3 100	2
		南洋北部 170 E以西	9—12N 156—169E	21	1 2.4		2 4.9	3 7.3	5 12.2	8 19.5	3 7.3	5 12.2	3 7.3	2 4.9		2 4.9	1 2.1	6 14.6	41 100	0
	2	南洋南部 170 E以西	6—10N 141—172E	27				1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3							1 14.3	7 100	4
	1	ソロモン	2—6S 157—162E	4			1 50.0			1 50.0									2 100	1
	1	ニューカレドニア	17—19S 146—148E	11			1 2.7	2 5.4	5 13.5	4 10.8	7 18.9	8 21.6	3 8.1	2 5.4	1 2.7	1 2.7	1 2.7	2 5.4	37 100	205
	1	小スンダ、チモール	10—13S 123—125E	18		4 8.7	15 32.6	1 2.2	5 10.9	5 10.9	4 8.7	5 10.9	3 6.5	2 4.3	2 4.3				46 100	14
	2	濠洲西方		10			1 3.3	2 6.6	4 13.3	2 0.6	4 13.3	4 13.3	1 3.3	2 6.6	1 3.3	2 6.6	3 9.9	4 13.3	30 100	22

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	40cm以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161cm以上	計	漁獲尾数
び	4	30—40N 180—140W	28—34N 179—156W	68						14 22.6	17 27.4	26 41.9	5 8.1						62 100	61
	4	ミッドウェー	26—30N 180—155W	41							1 5.6	11 61.1	4 22.2	2 11.1					18 100	11

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	40cm以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161cm以上	計	漁獲尾数
え	20	30 — 35N 150 — 180E	31— 37N 149—178E	276				21 1.3	14 0.9	262 16.3	738 45.9	479 29.8	91 5.7	2 0.1					1607 100	5540
	1	西部太平洋	21—23N 146—149E	17							3 7.7	26 66.7	10 25.6						39 100	28
な	1	南洋北部 170 E以西	5—11N 152—160E	13							1 25.0	2 50.0	1 25.0						4 100	5
	3	南洋南部 170 E以西	9—11N 139—158E	36							4 22.2	12 66.7	2 11.1						18 100	13
が	2	ソロモン	3—11S 175—180E	18						25 44.6	25 44.6	6 10.7							56 100	388
	1	ニューカレドニア	17—18S 171—176E	14						8 6.8	90 76.3	20 16.9							118 100	1603

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	80cm以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201cm以上	計	漁獲尾数
め	1	30 — 40N 180 — 140W	29—34N 169—161W	13									1 100						1 100	1
か	3	ミッドウェー	24—34N 180—155W	46	4 13.3		11 36.7	2 6.7	5 16.7	1 3.3	1 3.3		3 9.9			2 6.7		1 3.3	30 100	2
じ	21	30 — 35N 150 — 180E	31—37N 149—178E	294	1 0.2	12 2.0	37 6.2	29 4.9	46 7.7	40 6.7	29 4.9	18 3.0	51 8.6	40 6.7	64 10.8	78 13.1	55 9.3	94 15.8	594 100	530
き	1	西部太平洋	21—23N 146—149E	17		1 16.7							4 66.7				1 16.7		6 100	4
	1	南洋南部 170 E以西	5—9N 168—173E	10	2 40.0		2 40.0										1 20.0		5 100	2

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	100cm以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221cm以上	計	漁獲尾数
ま	2	30 — 40N 180 — 140W	29—34N 179—160W	30			2 2.9	14 20.0	24 34.2	25 35.7	5 7.1								70 100	40
	4	ミッドウェー	24—30N 180—155W	64	20 9.3	5 2.3	39 18.1	47 21.8	61 28.2	27 12.5	16 7.4	1 0.5							216 100	117
か	1	ハワイ南西 5N以南	0—3N 178—172W	8				3 21.4	4 28.6	6 42.9		1 7.1							14 100	2
じ	18	30 — 35N 150 — 180E	31—37N 149—178E	236		5 1.2	43 10.3	115 27.5	136 32.5	84 20.1	29 6.9	5 1.2						1 0.2	418 100	278
	1	西部太平洋	21—23N 146—149E	17	8 22.2	7 19.4	13 36.1	8 22.2											36 100	24
き	3	南洋南部 170 E以西	5—11N 139—173E	40	6 15.8	10 26.3	2 5.3		3 7.9	14 36.8	1 2.6	1 2.6	1 2.6						38 100	8

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数	120cm以下	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241cm以上	計	漁獲尾数
こゆぐ うっろ しま	1	0 — 20N 140 — 120W	5—9N 134—129W	24		3 30.0	4 40.0	3 30.0											10 100	0

マグロ漁況概況予報　(1960年10月)

神奈川県水産試験場

1. 東部太平洋第1漁場 (20°N以北, 150°W以東)

中部太平洋第1漁場と同様, メバチが上昇途上で, 漁獲は1.9屯, マカジキが低下期で, 漁獲は0.2屯程度でしょう.

2. 東部太平洋第2漁場 (5°~20°N, 150°W以東)

北緯5度から10度, 西経150度から120度にかけての海域は, キハダが不漁期で0.8屯, メバチは好漁期で4.2屯位の漁獲となるでしょう. ただし, メバチの漁獲は西方から低下しますので, 西経140度以西では1.0屯位の漁獲でしょう.

3. 東部太平洋第3漁場 (5°N~10°S, 150°W以東)

キハダ, メバチ, 共に, 緯度により漁獲が異なり, 赤道から北緯5度までの水帯は, キハダが9月より若干増加し1.6屯, メバチがが低下途上で2.4屯の漁獲となるでしょう.

赤道から南緯10度までの水帯は, キハダ, メバチ, 共に概して漁獲が高く, キハダは, 赤道から南緯5度までの水帯が0.9屯, 南緯5度から7度までの水帯が1.7屯, 南緯7度から10度までの水帯が3.4屯の漁獲, また, メバチは, 赤道から南緯3度までの水帯が4.8屯, 南緯3度から10度までの水帯は3.0屯の漁獲となるでしょう. ただし, 赤道から南緯2度までの水帯のキハダは, 海域により4.4屯位の漁獲があるかもしれません.

4. 中部太平洋第1漁場 (20°N以北, 180~150°W)

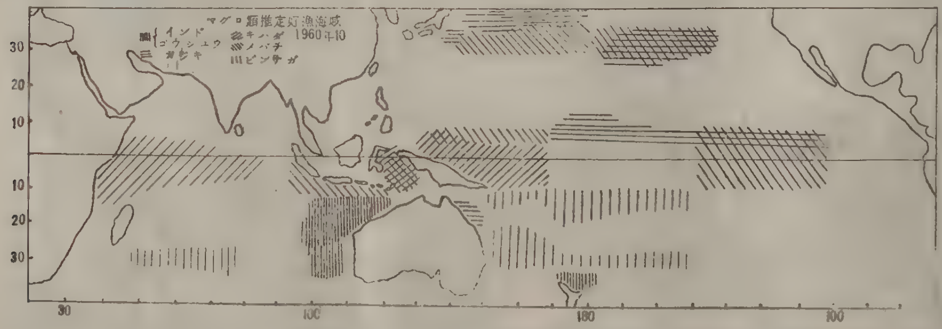
メバチは上昇途上で1.9屯, マカジキは低下期で0.2屯位の漁獲でしょう.

5. 中部太平洋第2漁場 (5°~20°N, 170°E~150°W)

北緯5度から13度までの海域は, メバチが不漁期で1.0屯, クロカワは低下途上で0.3屯の漁獲でしょう.

6. 中部太平洋第3漁場 (5°~10°S, 170°E~150°W)

北緯5度から南緯5度までの海域のキハダは, 全海域にわたって低下途上で, 漁獲は0.6屯から1.3屯位となり, 不漁期に入る見込みです.



7. 中部太平洋第4漁場（10°～30°S，170°E～150°W）

9 月に，ギルバート諸島東南方海域に見られたビンナガは，漁場が10月に至って，南緯10度から22度付近までの全海域に拡がり，漁獲は0.6屯から0.9屯位になるでしょう．

また，9 月に南緯22度から30度までを東西にのびていたビンナガ漁場は10月には，南緯25度から30度の水帯にと，せまくなると共に，漁獲は更に低下して1.2屯位になるでしょう．

8. 中部太平洋第5漁場（30°S以南，170°E～150°W）

ニュージランド北東沿海のゴウシュウマグロは低下途上にあり，10月は，3.6屯から4.2屯位になるでしょう．

9. 西部太平洋第1漁場（20°N以北，180°以西）

メバチは9月から低下期に入り，漁獲は0.7屯，これに対し，マカジキとメカジキは北部が好漁期で，マカジキは，北緯35度から40度，東経145度から170度にかけての海域で漁獲は0.4屯位，メカジキは，北緯40度から45度，東経150度から180度の海域で0.6屯となるでしょう．

なお，伊豆諸島東方海域のメカジキも好漁期で，0.3屯位の漁獲がある見込みです．

10. 西部太平洋第2漁場（5°～20°N，170°E以西）

北緯5度から14度にかけての海域のメバチは，10月から低下し始め，漁獲は0.8屯程度，ただし，マーシャル諸島西方海域は1.1屯程度の漁獲があるでしょう．

なお，南西よりのパラオ諸島，ヤップ島周辺は，キハダがかなり出漁し，1.2屯位の漁獲がある見込みです．

11. 西部太平洋第3漁場（5°～10°S，170°E以西）

この漁場全海域にわたって出現するキハダは，9 月から好漁期に入り，10月には最盛期に入りますが，今年は不漁年の可能性が大きいので，漁獲は赤道から北緯5度までの水帯が1.8屯，赤道から南緯5 度までの水帯が1.2屯，南緯5度から10度の水帯が1.8屯となる見込みです．

12. 西部太平洋第4漁場（10～30°S，170°E以西）

キハダは全海域にわたって0.8屯程度，パプア島東南方からサンタクルス，ニューヘブリデス諸島にかけての海域のビンナガは，0.9屯の漁獲，また，南緯22度から30度にかけての海域のビンナガも0.6屯位の漁獲ですが，この漁場としては不漁期です．

南緯18度から30度までの海域で8月から釣れ始めたマカジキは，10月から好漁期に入り，1.3屯位の漁獲があるでしょう．

なお，サンゴ海周辺は，キハダ1.0屯に，メバチが0.8屯，シロカワが昨年からもちなおしたので，1.5屯位混る見込みです．

13. 東部印度洋漁場（100°E以東）

バンダ海は，キハダが上昇途上，メバチが好漁期で，漁獲はキハダが1.1屯，メバチが0.9屯位になるでしょう．

大，小スンダ列島南側沿海では，キハダが極く沿海で1.3屯，メバチは漁場が西方にのびて東経95度付近まで拡がり，漁獲は1.1屯位，また，南緯10度以南では，9 月に出現したインドマグロが，南緯30度以北の全海域にわたり好漁期に入り，漁獲は，チモール島西南方の海域が3.0屯，他海域は3.7屯位，南緯15度から25度までの海域はマカジキが好漁期に入り，漁獲は0.5屯，西南端の南緯22度から30度までの西よりの海域では，低下途上のビンナガが0.6屯位漁獲されるでしょう．

14. 北部印度洋漁場（5°N以北）

ベンガル湾は，キハダ，メバチ，共に不漁期で，漁獲はキハダ0.7屯，メバチ0.5屯，アラビア海は，

キハダが上昇途上で1.8屯位，メバチも若干漁獲されるでしょう.

15. 中部印度洋漁場（5°N～10°S，100°E以西）

キハダは全海域にわたって上昇し始め，東経100度付近で，1.3屯，80度付近で2.4屯，60度付近で，4.3屯位，また，マルディヴ諸島西方海域では，メバチが好漁期に入り，1.5屯から2.0屯位漁獲されるでしょう.

16. 南部印度洋漁場（10°S以南，100°E以西）

南緯22度から30度までを東西に連る水帯のビンナガは，8月以降低下し，漁獲は1.8屯位でしょう.

マグロ漁況概況予報　（1960年11月）

神奈川県水産試験場

1. 東部太平洋第1漁場（20°N以北，150°W以東）

北緯33度，西経145度周辺のメバチは，その西方漁場と同様好漁期に入り，しかも，今年は好漁年に当るので，漁獲は2.3屯位になるでしょう．マカジキは不漁期に入り，0.04屯位の漁獲でしょう.

2. 東部太平洋第2漁場（5°～20°N，150°W以東）

キハダは不漁期で0.5屯程度の漁獲，メバチは10月にひき続き好漁期ですが，漁獲は西方から低下して来ており，この影響が11月は西経135度までみられるものと推定されるので，西経135度以西は2.5屯，西経135度以東の海域が5.1屯位の漁獲になるでしょう.

なお同海域は，クロカワも0.4屯位漁獲されるでしょう.

3. 東部太平洋第3漁場（5°N～10°S，150°W以東）

キハダは全般的に不漁期ですが，赤道から南緯2度の水帯は，海域により5.0屯位の漁獲があるかもしれません．漁獲は，赤道から北緯5度までの水帯が1.4屯，南緯2度から5度までの水帯が0.9屯，南緯5度から10度までの水帯が1.8屯，これに対し，メバチは，赤道から北緯5度までの水帯が低下途上で不漁期に入り，漁獲は1.5屯，赤道以南は，南緯5度から7度までの水帯は不漁期で1.4屯，赤道から南緯5度までの水帯は好漁期で6.0屯位，南緯7度から10度までの水帯も好漁期で3.5屯位になるでしょう.

4. 中部太平洋第1漁場（20°N以北，180°～150°W）

メバチは好漁期に入り，また，今年は好漁年に当るので，漁獲は2.3屯位，マカジキは不漁期で0.04屯位になるでしょう.

5. 中部太平洋第2漁場（5～20°N，170°E～150°W）

メバチは11月から上昇し始める見込みですが，漁獲は，まだ不漁期で1.2屯位，クロカワは低下途上ですが0.2屯位の漁獲でしょう.

6. 中部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E～150°W）

この漁場のキハダは全般的に不漁期に入り，漁獲は0.4屯から1.0屯程度になる見込みですが，ギルバート諸島周辺及びその西側の海域のキハダは西部太平洋第3漁場の影響内にあり，2.8から3.8屯位の漁獲があるでしょう.

なお，ギルバート周辺では，メバチも0.7屯位混獲されるでしょう．

7. 中部太平洋第4漁場（10～30°S，170°E～150°W）

ビンナガは南緯10度から15度までの水帯と，フィージー諸島西方周辺が好漁期で，漁獲は1.5屯位でしょう．

8. 中部太平洋第5漁場（30°S以南，170°E～150°W）

ニュージランド北方及び東北方海域のゴウシュウマグロは，8月以降の低下を続け，漁獲は3.0屯から3.6屯位の見込みです．

9. 西部太平洋第1漁場（20°N以北，180°以西）

日本列島東方北緯30度線のメバチは不漁期ですが，漁獲は，0.3屯から0.5屯位，北緯35度線のマカジキは好漁期末期で，漁獲は0.15屯程度，また，メカジキは，伊豆諸島東方海域と北緯36度以北，東経160度から180度にかけての海域とが好漁期で，漁獲は伊豆諸島東方海域が0.25屯，東経160度から180度までの海域が0.6屯位になるでしょう．

10. 西部太平洋第2漁場（5～20°N，170E以西）

メバチは西よりから低下途上にあり，東経150度以西は0.4屯位，以東は0.7屯位の漁獲，キハダは，好漁期の西部太平洋第3漁場の影響を受け，1.3屯位の漁獲になるでしょう．

11. 西部太平洋第3漁場（5°N～10°S，170°E以西）

この漁場のキハダは全般的に好漁期に入るが，今年は不漁年の可能性が大きいので，漁獲は昨年程高くはなく，赤道から北緯5度の水帯が2.1屯，赤道から南緯5度までの水帯が1.8屯，南緯5度から10度までの水帯が1.6屯位，また，メバチは0.4屯位混獲されるでしょう．

なお，キハダがもし，今年の漁獲が昨年と同傾向になれば，北緯5度から南緯5度の水帯は，2.7屯位の漁獲になる見込みです．

12. 西部太平洋第4漁場（10～30°S，170°E以西）

キハダは全海域にわたり0.7屯程度，ビンナガはニューヘヴリデス諸島周辺及びその西側の海域は若干漁獲がみられ，0.6屯位でしょう．

なお，サンゴ海南西海域のシロカワは，昭和33年以降もち直した様で，今年は2.3屯位の漁獲，また，オーストラリアブリスベーン沖合のマカジキも好漁期で，1.8屯位の漁獲があるでしょう．

13. 東部印度洋漁場（100°E以東）

バンダ海は，キハダ，メバチ共に好漁期で，キハダは1.5屯，メバチは0.7屯位の見込み，また，大，小スンダ列島南側南緯10度以北の海域のキハダは，上昇途上で漁獲は1.3屯位，同海域の南緯12度以北のメバチは漁場が西方の東経95度付近まで拡がると共に，漁獲はやや低下し，漁獲は1.0屯位になるでしょう．

昨年から漁獲の高くなったインドマグロは，南緯12度の直ぐ南側は0.8屯位，オーストラリア，オンスロー西方海域は最盛期で4.5屯位の漁獲，南緯15度から20度の海域のマカジキも好漁期で0.5屯位の漁獲になるでしょう．

なお，南緯1.5度から20度までの東経105度以西の海域ではビンナガが0.9屯位漁獲される見込みです．

なお，南緯1.5度から20度までの東経105度以西の海域ではビンナガが0.9屯位漁獲される見込みです．

14. 北部印度洋漁場（5°N以北）

ベンガル湾は，キハダが不漁期で1.1屯，メバチが上昇途上で0.7屯の漁獲，アラビア海はキハダが好

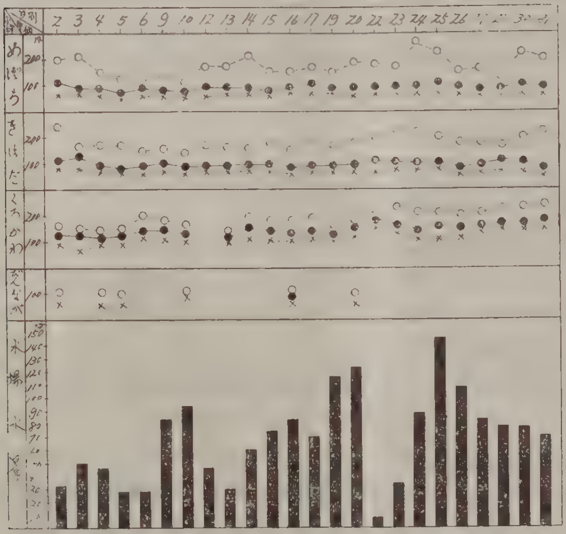
漁期に入り2.8屯位の漁獲でしょう.

15.　中部印度洋漁場（5°N～10°S，100°E以西）

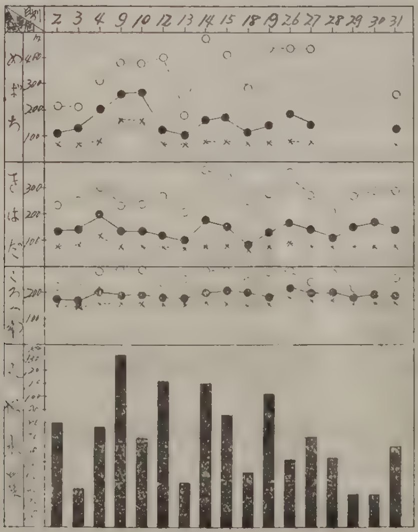
全海域にわたり，キハダが上昇途上で好漁期に入り，漁獲は東方で2.6屯，西方の赤道以北が4.7屯，赤道以南が5.6屯位になる見込み，また，西よりの海域ではメバチも2.6屯位混獲されるでしょう.

16.　南部印度洋漁場（10°S以南，100E以西）

ビンナガが南緯10度から22度の水帯で好漁になり，ココス島南方海域が1.8屯，ココス島北西海域が1.5屯，マダガスカル東方，カラヨス諸島周辺が3.0屯，その東方の東経70度周辺が2.4屯位の漁獲になる見込みです.



鮪類水揚価格表（三崎）
昭和三十五年七月



鮪類水揚価格表（三崎）
昭和三十五年八月

まぐろ研究報告の紹介

No. 15

キハダ，メバチ，クロカワのカロリン，マーシャル諸島付近における遊泳層の季節変化についてⅠ—Ⅳ

中　込　淳

（日本水産学会誌 23(9)，24(3)，1958）

（Ⅰ）　キハダは晩春の5月に最浅部（115m付近），秋季の10月に最深部（150m付近）に最も多く，この間緩に上昇降下し，明瞭な季節変化をしている．

メバチは，11月にかなり浅層（120～125m）にあり，1月にいったんかなりの深層（140m付近）に移った後，次第に上昇して5月に最浅部（110m付近）に至り，その後次第に降下して10月に最深部（150m付近）に至って再び急上昇し，11月の浅層に至る．

クロカワは12月に最浅層（100m付近）にあり，3月にかけて急降下して3．4．5月は最深層（160m付近）6．7月と稍浅層（130m付近）に上昇し，9，10月に再び稍深層（150m付近）に降下した後，急上昇して12月の浅層に至る．

（Ⅱ）　キハダ，メバチの遊泳層の季節変化は水温の変化によって惹起されるのではなく，クロカワは24～25°Cの水温層に主に分布し，水温層の上下変化に従って魚群の遊泳層が季節変化するものと考えられる．

但し，クロカワが，24～25°Cの水温層が120m以深に降下する時は，その上層の25～26°Cの水温層にもかなり分布し，120m以浅に上昇するとその下層の23～24°Cの水温層にもかなり分布する．従って，遊泳層の上下移動は水温層の上下移動より深浅距離が小さく，多少は順応性があるように思われる．

（Ⅲ）　キハダとメバチの釣獲率の変化は，遊泳層の変化に大きく影響される．

クロカワは，水温に敏感なため，南北季節回遊現象を起し，釣獲率の変化は，遊泳層の変化と回遊現象の両方の影響を受けるが，むしろ，回遊現象によって受ける影響の方が大きい．

（Ⅳ）　キハダとメバチの遊泳層の季節変化は，塩素量の季節変化との間に関係がみられない．

（文責　中込）

中部太平洋の深層マグロの延縄漁業（1952年8—11月）

Garth I. Murphy and Richard S. Shomura.

(Special Scientific Report: Fisheries No. 137, 1955.
Bureau of Commercial Fisheries.)

1.　1952年8月から11月までの期間に，120°Wから170°Wにかけての赤道太平洋で，延縄漁業を4航海行なった．

2.　湧昇流は，120°Wの赤道付近で非常に強れつであった．キハダの漁獲は，この湧昇流の流域では低かったが，これは，その流域が，光合成帯（太陽の届くところまでの層）に好適な食物を盛んに供給するのには，充分な長さではないことを示している．

3.　130°W付近の湧昇流は，120°W付近より幾分か弱かった．そして，湧昇流帯では，中程度の量のキハダが漁獲された．

4.　150°Wに沿った2つの断面と140°Wに沿った1つの断面は，中程度の湧昇流のあることを証明している．また，これらの断面の付近では，キハダが，赤道の北側に集中している．

5.　他の航海の結果と比較したところ，150°W線では，8月及び10月にやや好漁となったが，むしろ，好漁は，その間に介在する9月に経験された．これは，多分，この海区に見込まれる短期間の変動

量の指標となるであろう.

6. ビンナガは，相対的に見て，西よりの169°W線では，赤道の2，3°南側に豊富であった.

7. 日本の，170°Wから180°にかけての海域における漁業は，相対的に見て，5°Nの北側ではメバチが豊富で，その緯度の南側ではキハダが豊富であることを示している．日本の船の漁獲率は，P．O．F．I．（現在の Biological Laboratory, Hawaii Area）の試験船の漁獲率とほぼ同じであった.

8. 延縄で漁獲されたキハダとメバチの大きさは，西から東へ大きくなっている．この魚体の大きさの差は，湧昇流の強さの明らかな差と一致するが，また，その差は，西部，中部，東部太平洋の間で，それら3海区の相対生産量に関係のあるキハダ，メバチの成長率に，根本的な差のあることを示している.

9. 延縄漁獲物中のキハダにおいて，雌より雄の方が著しく多いが，これは，或る年令に達した後，雌が非常に多く死ぬためであろう.

10. 延縄によって漁獲される深さを探知するために，音響測深機を使用する方法が計画された．その応用により予備的な結果が与えられる．そのひ近な例として，無視出来ない程度の縄の流れは，縄が可能な最大の深さに達するのを妨げた.

11. キハダの一般的な漁獲は，深い鈎と中間の鈎に多く浅い，鈎に少い．メバチとビンナガは，深い鈎で最もひんぱんに漁獲された.

12. 試験操業の結果，枝縄の中のセキヤマという高価な部分を，除くことが出来ることが解った．.

13. 漁獲の約10％は，サメにより喰い切られ，缶詰工場に引き渡すのに不適当であった．また，この数字は，多分，操業の作業の間において，減ずることが出来るであろう．（文責　中込）

営業品目

商船用・漁船用並びに陸上用無線通信装置の製造

装　備・補修一式

七洋電機株式会社

本　　社　東京都目黒区中目黒4丁目1315番地
電話荏原（712）2525・2526・3314番

神戸出張所　神戸市生田区栄町通3の37（栄町ビル）
電話神戸㊂0778番

業界メモ

1960年8月—9月

8月31日　鮪漁業講演会の開催

本会では神奈川県鰹鮪漁協組，同漁業者協会と共催して三浦商工会議所講堂で講演会を開催した．講師と演題は次の通りである．尚講演要旨については本誌次号に掲載の予定である．

1. 印度洋におけるキハダの現状と今後の予想　南水研　三村技官
2. ハワイ水産研究所土産話　同
3. 濠洲南方海域のマグロ資源について　南水研　須田技官
4. マグロ漁場別漁獲統計調査について及びアフリカの水産土産話　統計調査部　山本技官

9月5日　照洋丸アフリカ沖などの調査へ

水産庁調査船照洋丸（602トン：調査団長矢部博氏）は3日東京港を出港，アフリカ沖および欧洲各国の漁場調査に向った．同船は10月中旬ごろからアフリカ西海岸沖の漁場調査を行なうがその成績が注目されている．このあとスペイン，イタリヤ，ユーゴなどの陸揚基地や市場調査を行ない明年3月帰港の予定．

（日本水産）

9月10日　母船式鮪三天、晴海に帰港

フイジイ諸島周辺海域に出漁していた大洋第3天洋丸は9月1日漁獲量6,426トン（マグロ類5,717トン）を水揚げ漁場を切り揚げたが15日午後東京晴海に帰港する．三天と交替で出漁した2番船広洋丸は去る1日から操業開始，10日現在で504トンを水揚げしている．

（水産庁日報）

＝消息欄＝

新会員（昭和35年6～8月）

番号	氏名（名称）	住所（所属）	摘要
909	株式会社　須田製作所	東京都中央区銀座6ノ4日交ビル	
910	永旺丸	三浦市三崎町宮城　報国水産ＫＫ	
911	永京丸	〃　〃	
912	杉山日出夫	茨城県波崎町	起屋丸船長
913	Ballestrero Tuena & Canepa	Piazza Corvetto 2-5, Genova, Italy.	
914	三瓶水産株式会社	愛媛県西宇和郡三瓶町安地	
915	長崎攻	神奈川県立三崎水産高等学校	みうら丸船長
916	館脇忠介	〃	みうら丸一航
917	川崎萠	東京都港区芝海岸通6 東京水産大学自治寮内	

退会（昭和35年2～7月）

614	かいえい漁業協同組合	鹿児島県揖宿郡開聞町仙田5875	昭和35. 2
615	明石市漁業協同組合連合会	兵庫県明石市大明石町	昭和35. 4. 2
692	岡部喬	静岡県賀茂郡西伊豆町田子月ノ浦	昭和35. 7. 11

No. 71（8月号）の正誤について

鮪漁船紹介写真第36住吉丸の要目中総屯数356.71屯は純屯数の誤りで総屯数は609.95屯
又本文17頁右13行目のその時は漁があったは，なかったの誤りにつき訂正します。（編集部）

本会の図書誌の分譲其の他について

◎本会発行の図書誌を分譲致しておりますから御申込下さい。

会　誌「鮪漁業」第6—72号（第1—5号品切）　各150円　郵送料　16円

鮪類水揚地調査報告（自昭和 27 年 5 月　至昭和 28 年 4 月）
1 部　300円　（B 5 判 150 頁）　郵送料　24円

鮪類水揚地調査報告（自昭和 28 年 5 月　至昭和 29 年 3 月）
1 部　400円　（B 5 判 226 頁）　郵送料　40円

鮪類水揚地調査報告（自昭和 29 年 4 月　至昭和 30 年 3 月）
1 部　300円　（送料を含む）（B 5 判 126 頁）

鮪類水揚地調査報告（自昭和 30 年 4 月　至昭和 31 年 3 月）
1 部　400円　（送料を含む）（B 5 判 135 頁）

1956年4月～57年3月に於ける鮪漁場の漁況と海況
1 部　500円　（送料共）（B 5 判 112 頁）

1957年4月58年3月に於ける鮪漁場の漁況と海況
1 部　400円　（送料共）（B 5 判 85 頁）

鮪漁船操業図（航走距離早見表、鮪類年令対体長体重表刷込）
1 枚　50円　郵送料　8円

鮪漁場図（海区別に表示したもの）
10 枚　100円　郵送料　16円

◎会員各位の鮪漁業に関する調査や研究或は体験、漁具漁法の改良、遭難防止等についての投稿其の他写真をお願い致します。

◎本会に入会を希望される方は住所、氏名、職業、会誌の送り先を記入の上年間会費 1,500 円（郵送希望の方は他に送料 200 円）を添えて研究会宛御申込下さい。

◎本誌に広告掲載希望の方は本会伊藤専務理事迄御申込下さい。

◎昭和32年度版鮪類水揚地調査報告、残部僅少でありますが御希望の向は御申込下さい。定価1部500円但し既刊の昭和28年. 29年. 30年. 31年度分と一括購入の場合は5冊特価 1,600円（送料共）

尚昭和33年度版も七月末発刊致しましたので御希望の方は御申込下さい。定価1部400円但し既刊の分と一括の場合6冊特価2,000円（送料共）

—— お　願　い ——

◎大変恐縮ながら昭和34年分35年分会費（一ヵ年分 1,700 円）未納の方は本会宛至急払込送金方（振替貯金口座横浜1472）お願い致します。　尚整理の都合もあり会費切れの向には一時会誌の送本を中止することもありますからお含み願いあげます。

鮪　漁　業
1960年 9 月号

昭和 35 年 9 月 10 日 印 刷
昭和 35 年 9 月 10 日 発 行
監　修　神奈川県水産試験場
編集兼発行人　菅　野　進
神奈川県三浦市　神奈川県水産試験場内
発 行 所　鮪 漁 業 研 究 会

魚群探知機
音響測深機
各種音響装置

株式会社 産研

本社・工場 静岡県沼津市千本郷林 1907（沼津港）電話（沼津） 1626・4543
東京営業所 東京都千代田区神田鍛治町 2-2（今川橋ビル）電話（神田）（251）0381・5444

樹脂加工 各種まぐろ延縄用ロープ

特徴
① まぐろの喰い良い
② タール染不要
③ 他の追随を許さない耐久力と耐摩耗力

アサヒテックスロープ株式会社

本社 東京都三鷹市下連雀四〇〇番地 電話武蔵野（022-3）3978・7923番
出張所 神奈川県三浦市三崎町仲崎一六七番地 電話三浦 2957番

——多年の技術と経験を生かす！——
営業種目 船舶・陸上

冷凍・冷蔵・製氷・冷房

冷凍・冷蔵・製氷工場
急速・空気凍結装置・冷房装置
冷凍機械器具・防熱装置
船舶冷凍冷蔵
設計 製作 施工

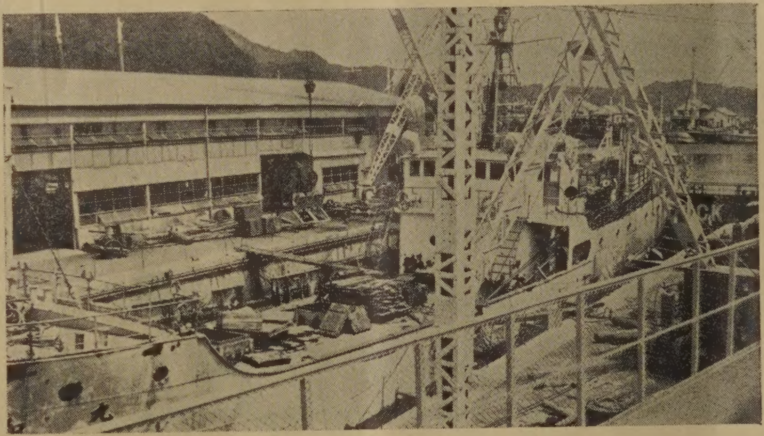
協同低温工業株式會社

本社 東京都千代田区神田佐久間町 1—21（山伝ビル）
電話（291）6101～5（内線 31～3）
（291） 7506（直通）
札幌営業所 札幌市北五条西5丁目 電話札幌(2)4895

漁船の建造、修理の御相談は

ドライドック	大きさ	長さ	幅	深さ	
		59.15 米	14.0 米	6.6 米	
	入渠可能船舶	長さ(垂線間)	幅(型)	吃水(平均汐高線1.7米に於て)	総屯数
		57.0 米	11.0 米	4.41 米	800屯

船台兼船架	建造又は上架可能船舶	構造	長さ	総屯数	数量
		4条軌条算盤式	50 米	500屯	2
		2条軌条式	50 米	250屯	2



下田船渠株式会社

静岡県下田港　本社事務所　電話下田 1001(代表)〜3番　本社現場事務所　電話下田1005(代表)〜6番
武ヶ浜工場　電話下田 1008(代表)〜9番
東京事務所　東京都中央区銀座東4—4　畜産会館1階　電話東京(541)9270(直通), 4121(代表)〜8番

紫綬褒章に輝やく
泉井式ラインホーラー

株式會社　泉井鉄工所
高知県室戸町

鮪漁業　第七十二号　昭和三十五年九月十日発行　(毎月一回十日発行)
昭和三十一年二月二十三日　第三種郵便物認可